

第 2 次厚木市文化芸術振興計画に 係る意向調査 報告書

令和 2 年 10 月

厚 木 市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
5. 標本誤差	2
 II 調査結果	3
(1) 性別	3
(2) 年代	4
(3) 職業	5
(4) 余暇の過ごし方	6
(5) この1年間に鑑賞（観賞）した文化芸術	8
(6) 文化芸術を鑑賞（観賞）した方法	10
(7) この1年間の文化芸術に関する活動状況	12
(8) 文化芸術活動を行う上での課題	14
(9) 市をPRできるもの	16
(10) 市の文化芸術に関する取組の認知度	18
(11) 文化芸術のまちづくりを進めるために必要なこと	20
(12) 市の文化芸術活動を発展させるために必要な人材育成	22
(13) 文化芸術活動への取組が必要な理由	24
(14) 「厚木らしい文化芸術」を推進していくために必要なこと	30
 III 使用した調査票	37

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、令和3年度を始期とする第2次厚木市文化芸術振興計画を策定するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域 厚木市全域
- (2) 調査対象 厚木市在住の15歳以上の男女（外国籍市民含む）
- (3) 対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送又は電子申請による回収
- (6) 調査期間 令和2年5月13日～6月12日

3. 回収結果

- (1) 対象者数 3,000件
- (2) 有効回収数 888件（電子申請203件含む）
- (3) 有効回収率 29.6%

4. 報告書の見方

- (1) 図中の「n」（Number of Casesの略）は、各設問の回答者数のことである。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

5. 標本誤差

今回の調査は、調査対象となる母集団（厚木市全域に住む 15 歳以上の男女）から一部を抽出した標本（サンプル）の比率等から母集団の比率等を推測する、いわゆる「標本調査」を行っている。したがって、母集団に対する標本誤差が生じることがある。

標本誤差は次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

{

N=母集団数
（厚木市の 15 歳以上人口）

n=比率算出の基数（回答者数）

p=回答の比率（%）

(注) $\frac{N-n}{N-1} \div 1$

今回の調査結果の標本誤差は次表のようになる。（この表の計算式の信頼度は 95%）

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
888	±1.97	±2.63	±3.01	±3.22	±3.29
700	±2.22	±2.96	±3.39	±3.63	±3.70
500	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
300	±3.39	±4.53	±5.19	±5.54	±5.66
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

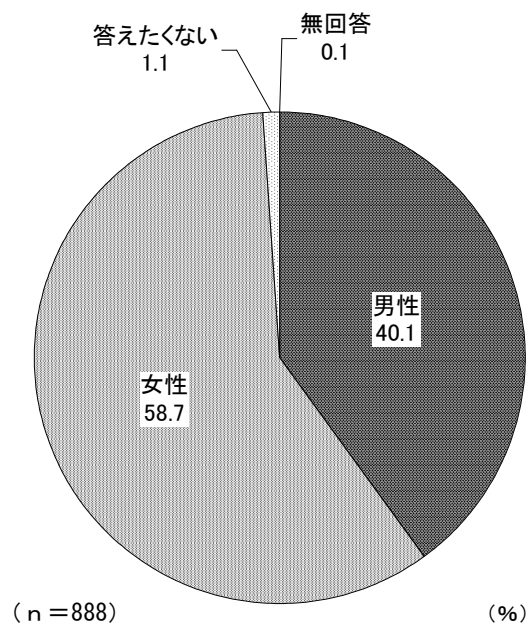
注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が 888 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±3.22%以内（56.78～63.22%）である」とみることができる。

Ⅱ 調査結果

(1) 性別

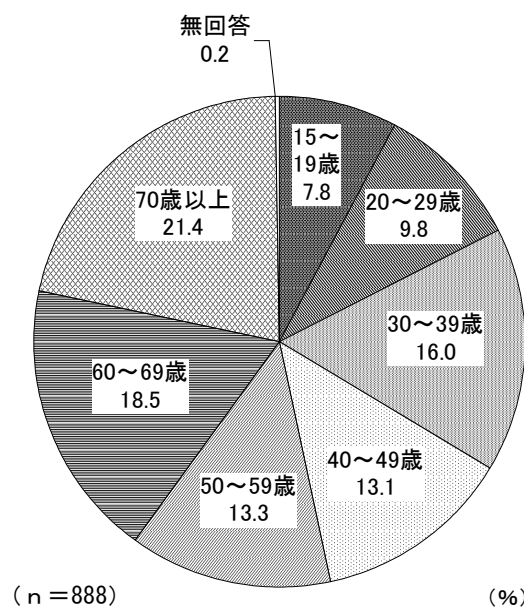
Q 1 あなたの性別について、該当するもの1つに○をつけてください。



性別は、「男性」が40.1%、「女性」は58.7%となっている。

(2) 年代

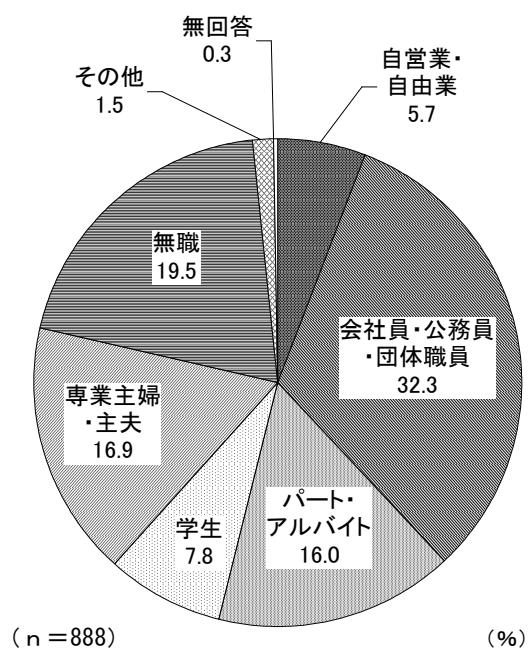
Q2 あなたの年代について、該当するもの1つに○をつけてください。



年代は、「15～19歳」が7.8%、「20～29歳」が9.8%、「30～39歳」が16.0%、「40～49歳」が13.1%、「50～59歳」が13.3%、「60～69歳」が18.5%、「70歳以上」が21.4%となっている。

(3) 職業

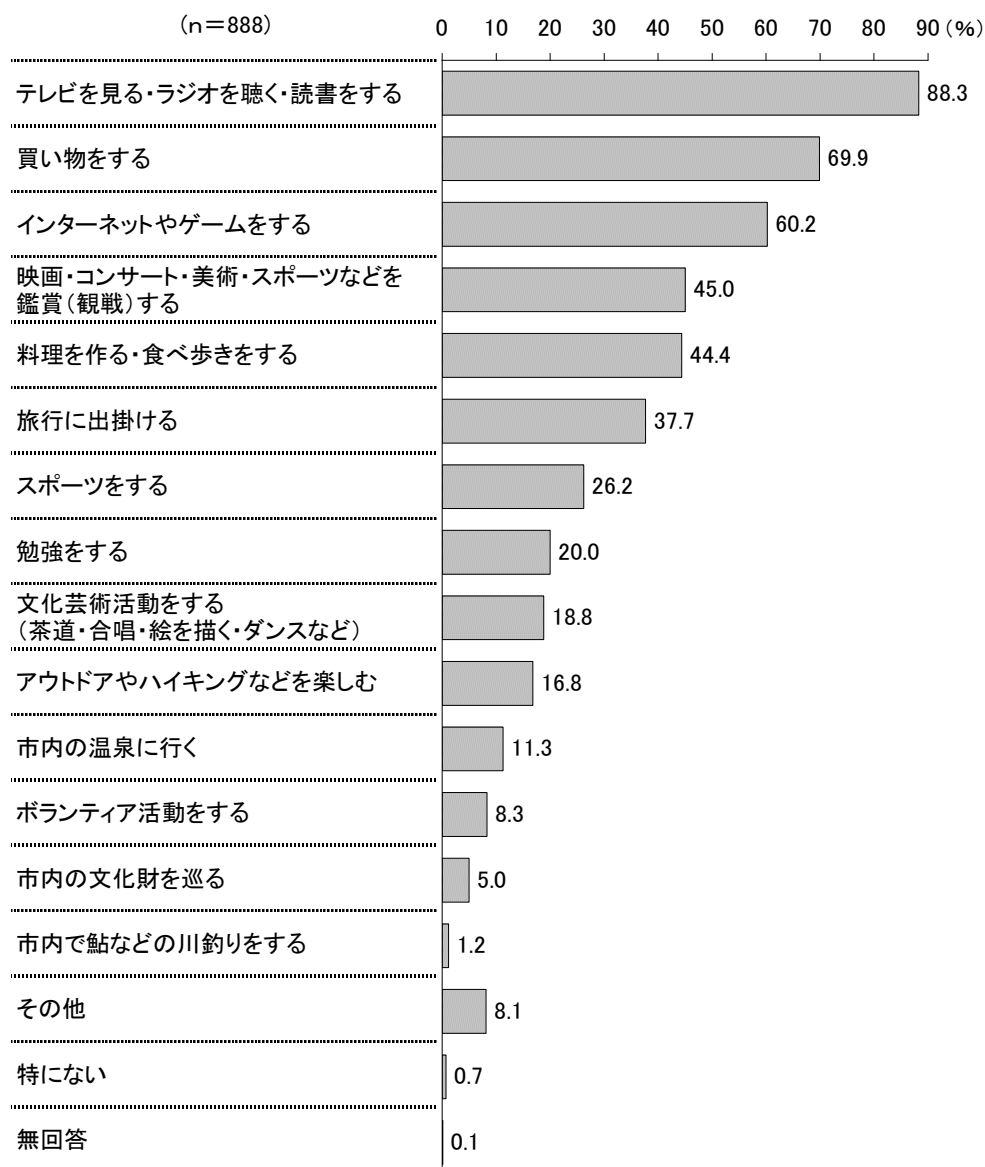
Q3 あなたの職業について、該当するもの1つに○をつけてください。



職業は、「会社員・公務員・団体職員」が32.3%で最も高く、次いで「無職」が19.5%、「専業主婦・主夫」が16.9%、「パート・アルバイト」が16.0%となっている。

(4) 余暇の過ごし方

Q 4 あなたの余暇の過ごし方について該当する選択肢を選んでください。該当するもの全てに○をつけてください。



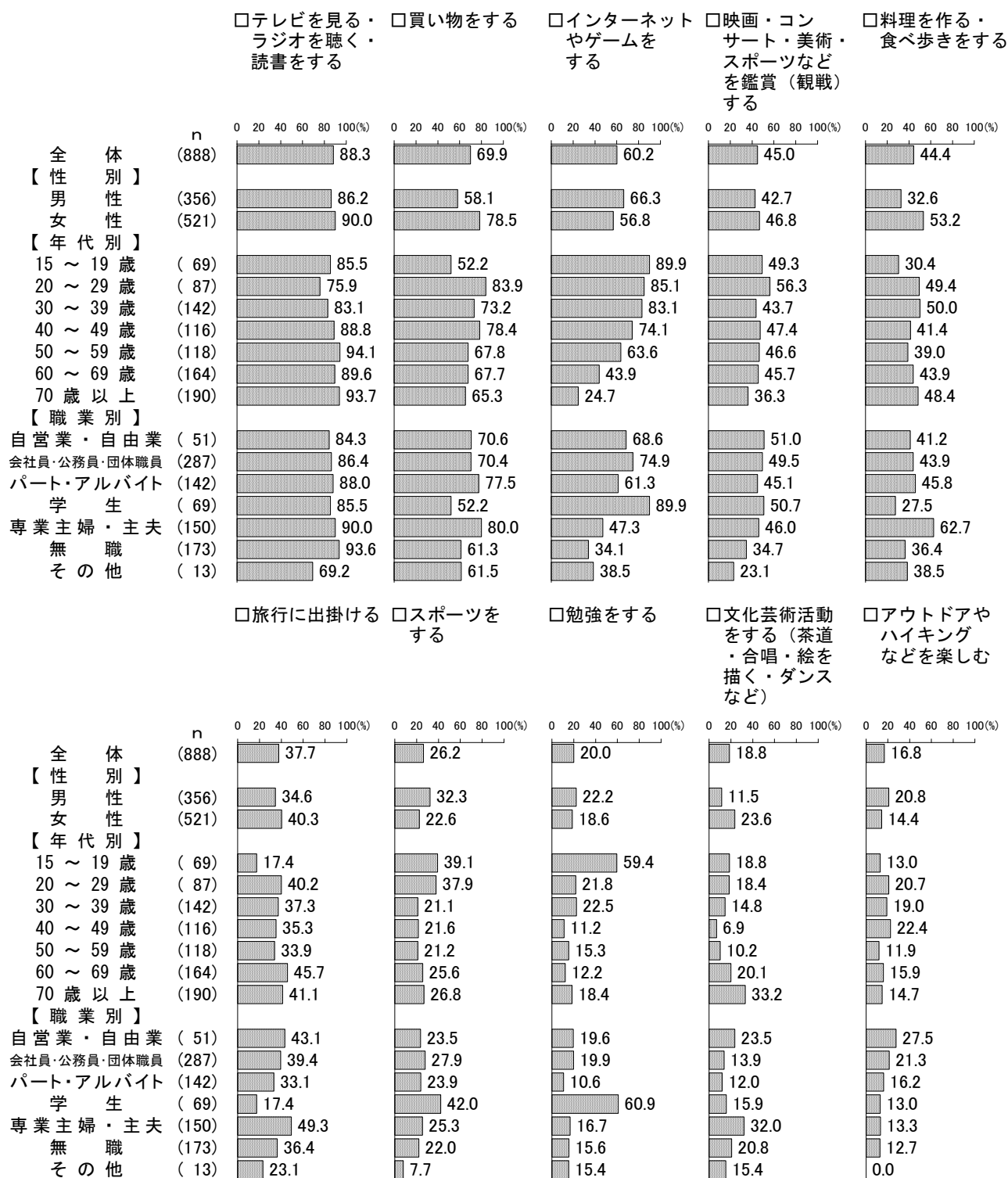
余暇の過ごし方について聞いたところ、「テレビを見る・ラジオを聴く・読書をする」が88.3%で最も高く、次いで「買い物をする」が69.9%、「インターネットやゲームをする」が60.2%、「映画・コンサート・美術・スポーツなどを鑑賞(観戦)する」が45.0%となっている。

<性別、年代別、職業別>（上位10項目）

性別でみると、「料理を作る・食べ歩きをする」は女性（53.2%）が男性（32.6%）より20.6ポイント、「買い物をする」は女性（78.5%）が男性（58.1%）より20.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツをする」は男性（32.3%）が女性（22.6%）より9.7ポイント高くなっている。

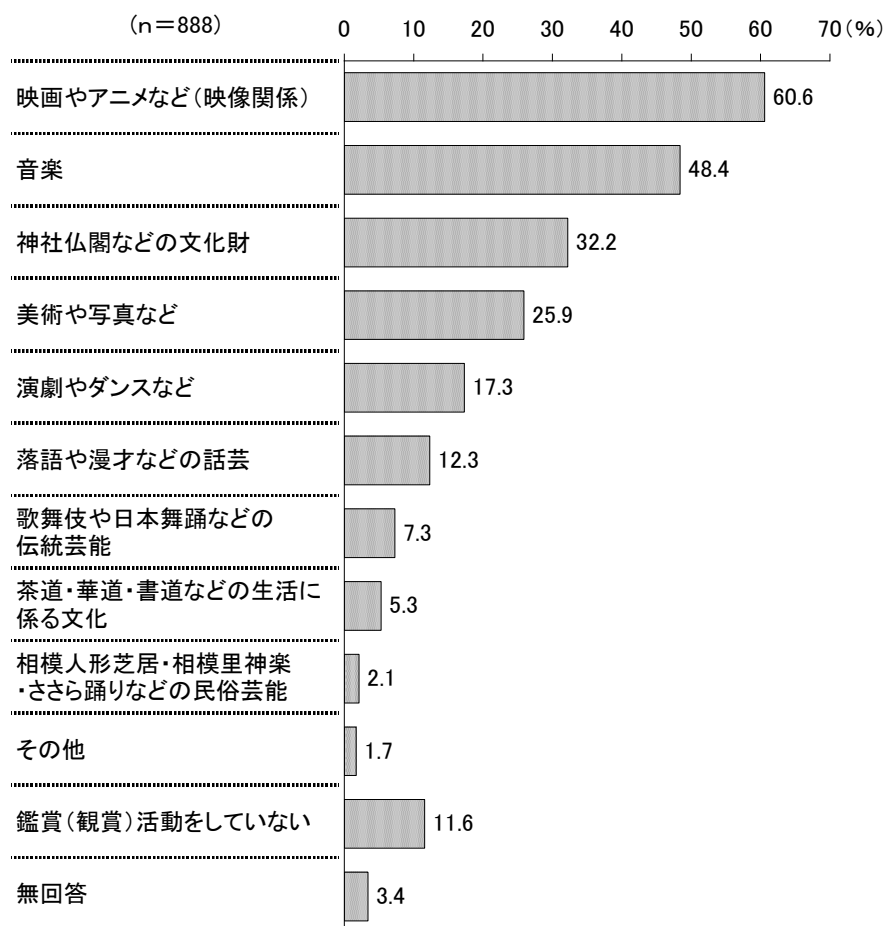
年代別でみると、「買い物をする」は20～29歳で83.9%と高くなっている。「インターネットやゲームをする」は年代が下がるにつれて高く、15～19歳で89.9%となっている。

職業別でみると、「インターネットやゲームをする」は学生で89.9%と高くなっている。「料理を作る・食べ歩きをする」は専業主婦・主夫で62.7%と高くなっている。



(5) この1年間に鑑賞（観賞）した文化芸術

Q5 あなたがこの1年間で鑑賞（観賞）した文化芸術は何ですか。該当するもの全てに○をつけてください。

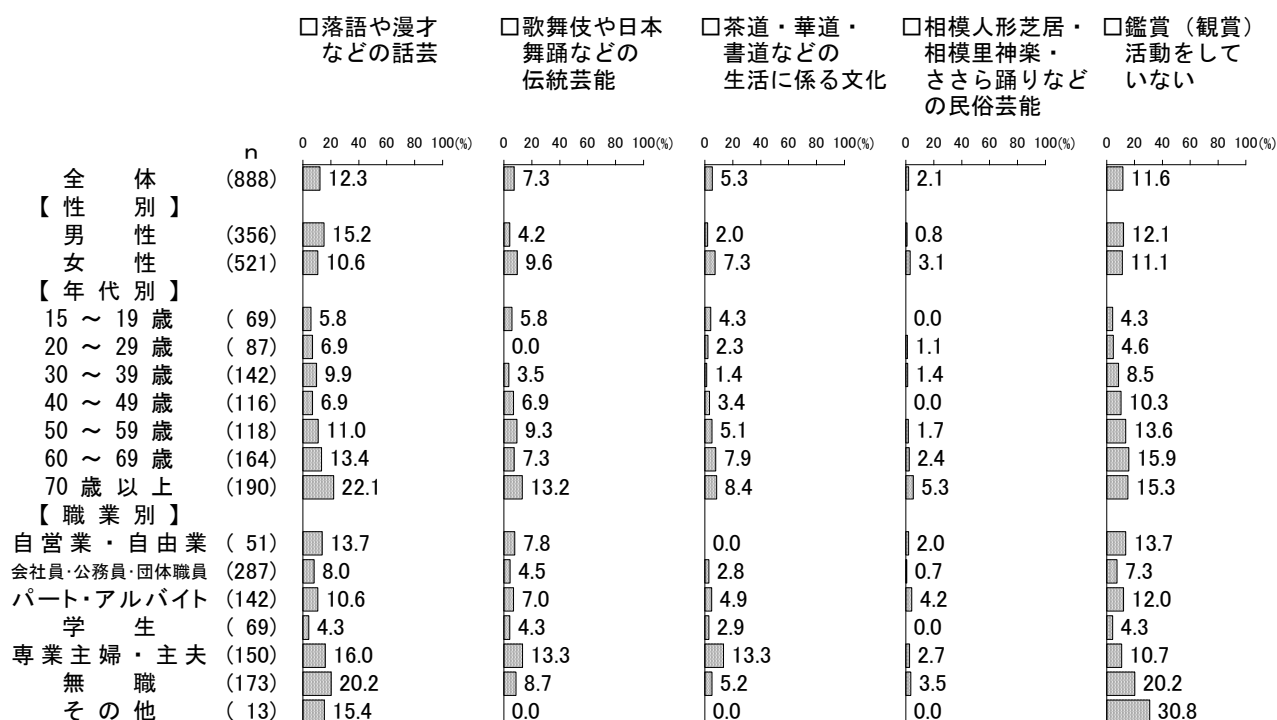
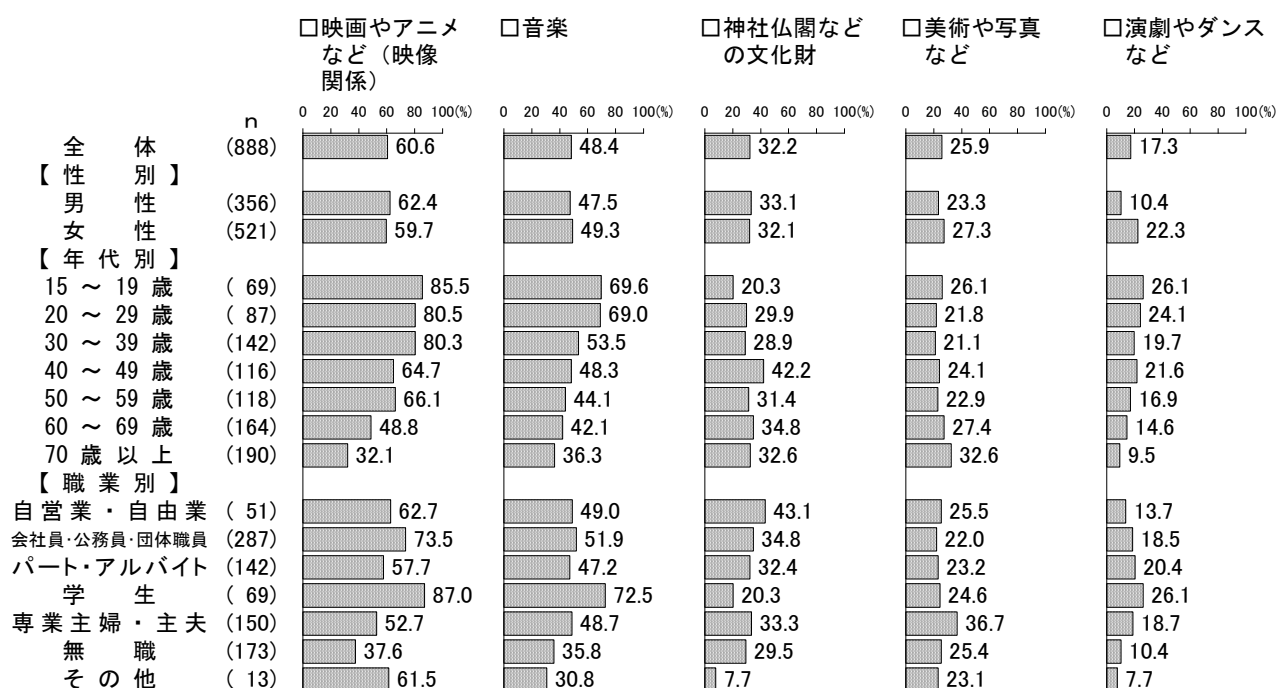


この1年間で鑑賞（観賞）した文化芸術を聞いたところ、「映画やアニメなど（映像関係）」が60.6%で最も高く、次いで「音楽」が48.4%、「神社仏閣などの文化財」が32.2%、「美術や写真など」が25.9%となっている。

性別でみると、「演劇やダンスなど」は女性（22.3%）が男性（10.4%）より11.9ポイント高くなっている。一方、「落語や漫才などの話芸」は男性（15.2%）が女性（10.6%）より4.6ポイント高くなっている。

年代別でみると、「映画やアニメなど（映像関係）」はおおむね年代が下がるにつれて高く、15～19歳で85.5%となっている。「音楽」は年代が下がるにつれて高く、15～19歳で69.6%、20～29歳で69.0%となっている。「神社仏閣などの文化財」は40～49歳で42.2%と高くなっている。

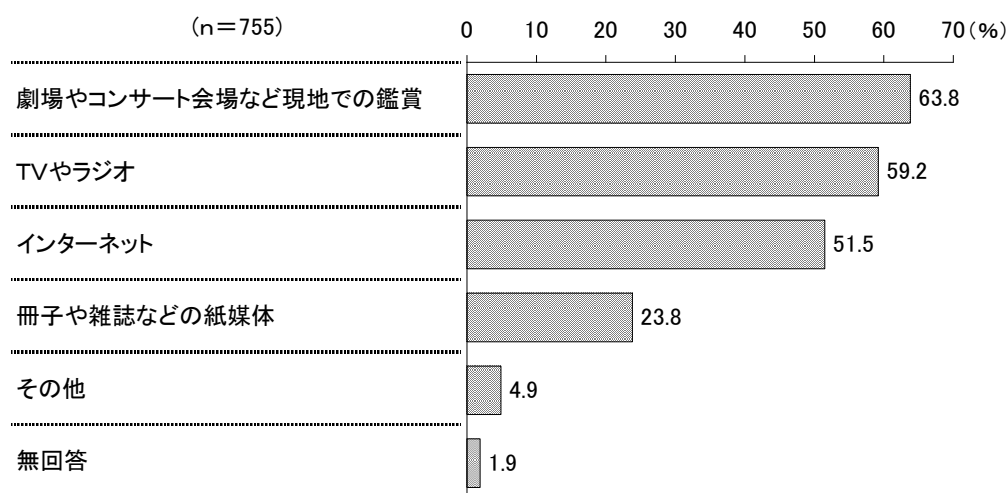
職業別でみると、「映画やアニメなど（映像関係）」は学生で87.0%と高くなっている。「音楽」は学生で72.5%と高くなっている。「神社仏閣などの文化財」は自営業・自由業で43.1%と高くなっている。



(6) 文化芸術を鑑賞（観賞）した方法

(Q5で、「鑑賞（観賞）した」とお答えの方におうかがいします)

Q6 あなたはこの1年間でどのような媒体や手段を通じて文化芸術を鑑賞（観賞）しましたか。該当するもの全てに○をつけてください。



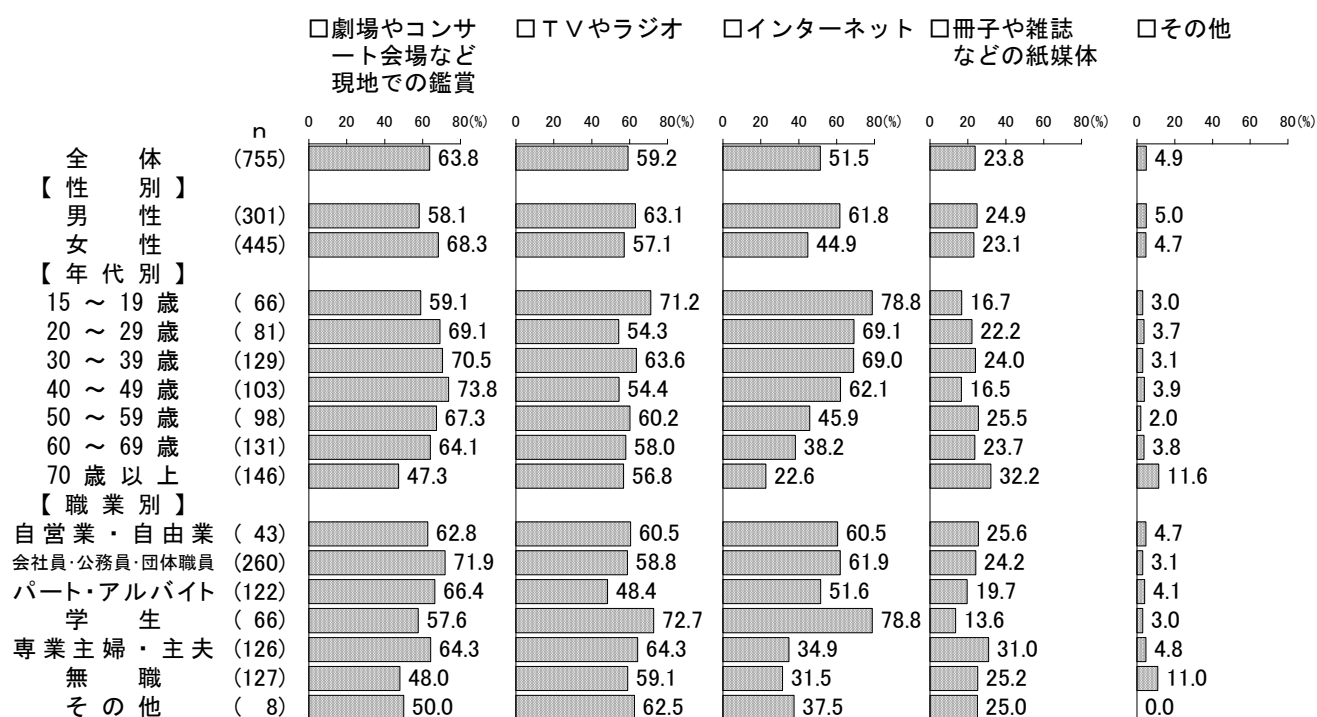
この1年間に文化芸術を「鑑賞（観賞）した」と答えた方に、どのような媒体や手段を通じて文化芸術を鑑賞（観賞）したか聞いたところ、「劇場やコンサート会場など現地での鑑賞」が63.8%で最も高く、次いで「TVやラジオ」が59.2%、「インターネット」が51.5%、「冊子や雑誌などの紙媒体」が23.8%となっている。

<性別、年代別、職業別>

性別でみると、「インターネット」は男性（61.8%）が女性（44.9%）より16.9ポイント高くなっている。一方、「劇場やコンサート会場など現地での鑑賞」は女性（68.3%）が男性（58.1%）より10.2ポイント高くなっている。

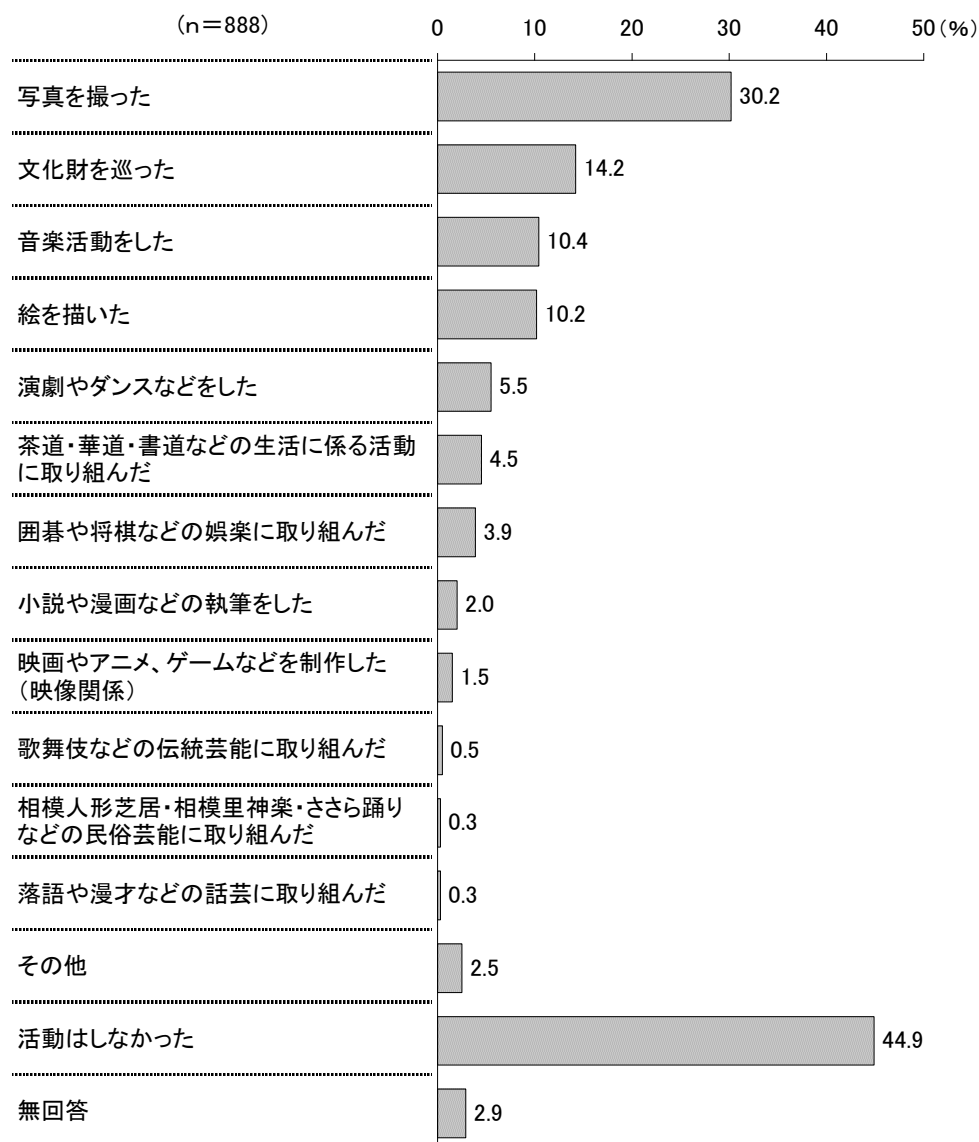
年代別でみると、「劇場やコンサート会場など現地での鑑賞」は30～39歳で70.5%、40～49歳で73.8%と高くなっている。「TVやラジオ」は15～19歳で71.2%と高くなっている。「インターネット」は年代が下がるにつれて高く、15～19歳で78.8%となっている。

職業別でみると、「劇場やコンサート会場など現地での鑑賞」は会社員・公務員・団体職員で71.9%と高くなっている。「TVやラジオ」は学生で72.7%と高くなっている。「インターネット」は学生で78.8%と高くなっている。



(7) この1年間の文化芸術に関する活動状況

Q7 あなたはこの1年間で文化芸術に関する活動をしましたか。該当するもの全てに○をつけてください。



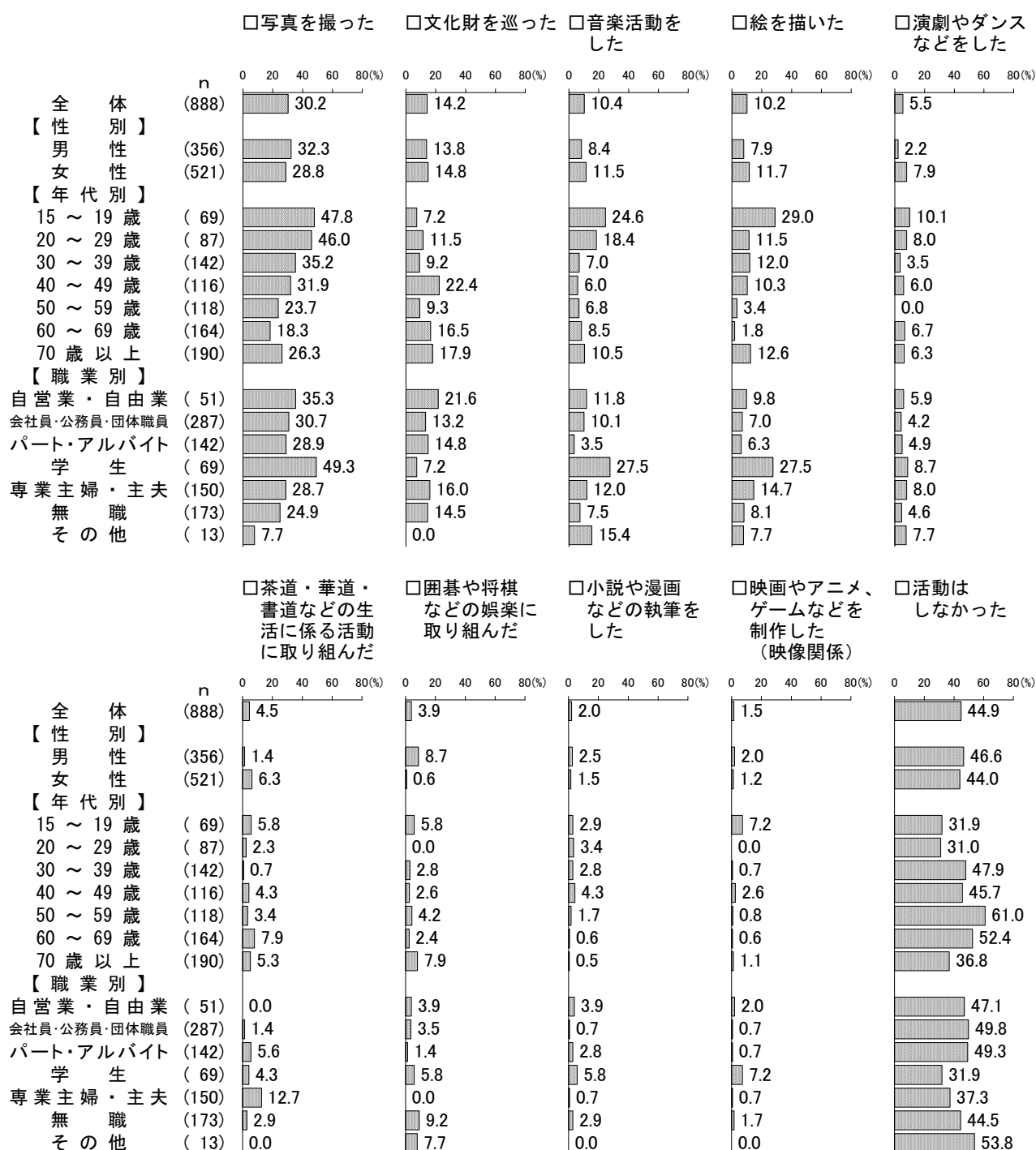
この1年間で文化芸術に関する活動をしたか聞いたところ、「写真を撮った」が30.2%で最も高く、次いで「文化財を巡った」が14.2%、「音楽活動をした」が10.4%、「絵を描いた」が10.2%となっている。一方、「活動はしなかった」は44.9%となっている。

<性別、年代別、職業別>（上位10項目）

性別でみると、「囲碁や将棋などの娯楽に取り組んだ」は男性（8.7%）が女性（0.6%）より8.1ポイント高くなっている。一方、「演劇やダンスなどをした」は女性（7.9%）が男性（2.2%）より5.7ポイント高くなっている。

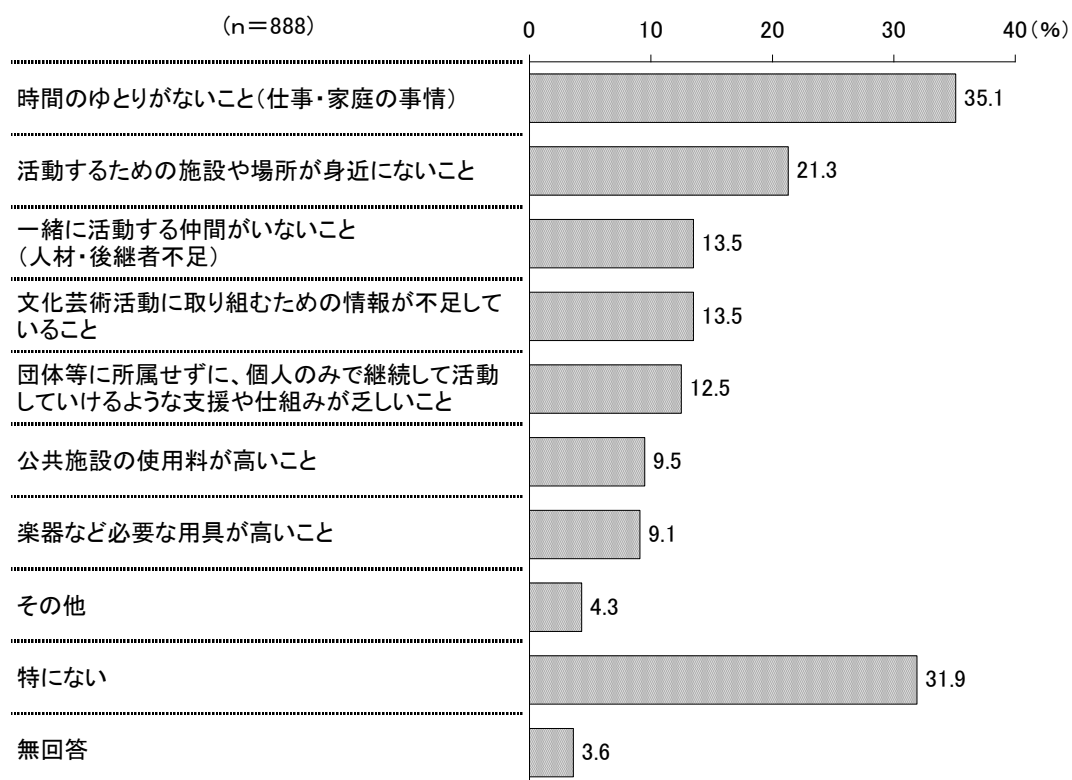
年代別でみると、「写真を撮った」はおおむね年代が下がるにつれて高く、15～19歳で47.8%、20～29歳で46.0%となっている。「音楽活動をした」は15～19歳で24.6%と高くなっている。「絵を描いた」は15～19歳で29.0%と高くなっている。

職業別でみると、「写真を撮った」は学生で49.3%と高くなっている。「音楽活動をした」は学生で27.5%と高くなっている。



(8) 文化芸術活動を行う上での課題

Q 8 あなたが文化芸術の活動をこれから始める又は現在している上での課題は何ですか。
当てはまるもの3つまで○をつけてください。



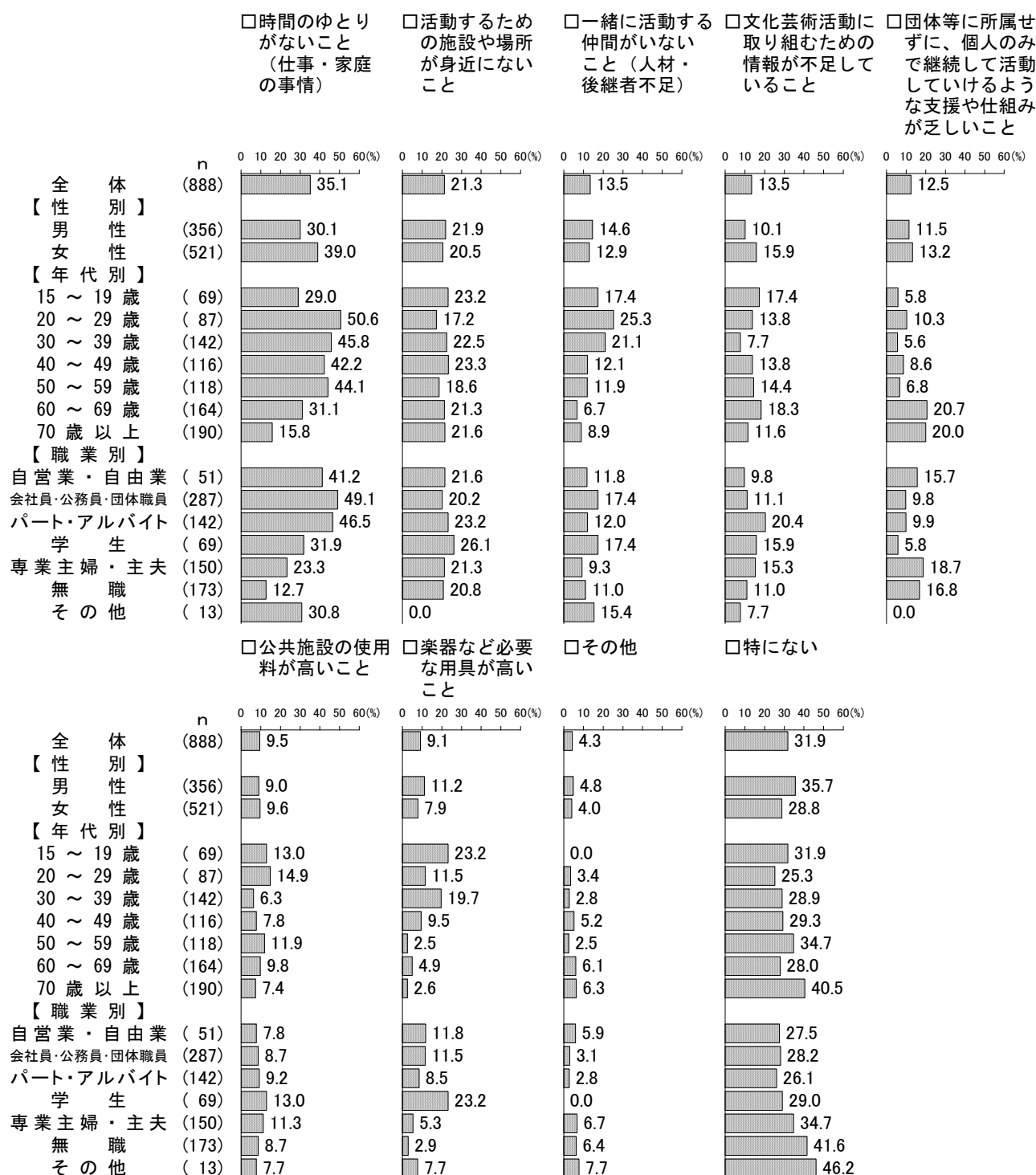
文化芸術の活動をこれから始める又は現在している上での課題を聞いたところ、「時間のゆとりがないこと（仕事・家庭の事情）」が35.1%で最も高く、次いで「活動するための施設や場所が身近にないこと」が21.3%、「一緒に活動する仲間がいないこと（人材・後継者不足）」と「文化芸術活動に取り組むための情報が不足していること」がともに13.5%となっている。一方、「特にない」は31.9%となっている。

<性別、年代別、職業別>

性別でみると、「時間のゆとりがないこと（仕事・家庭の事情）」は女性（39.0%）が男性（30.1%）より8.9ポイント、「文化芸術活動に取り組むための情報が不足していること」は女性（15.9%）が男性（10.1%）より5.8ポイント、それぞれ高くなっている。

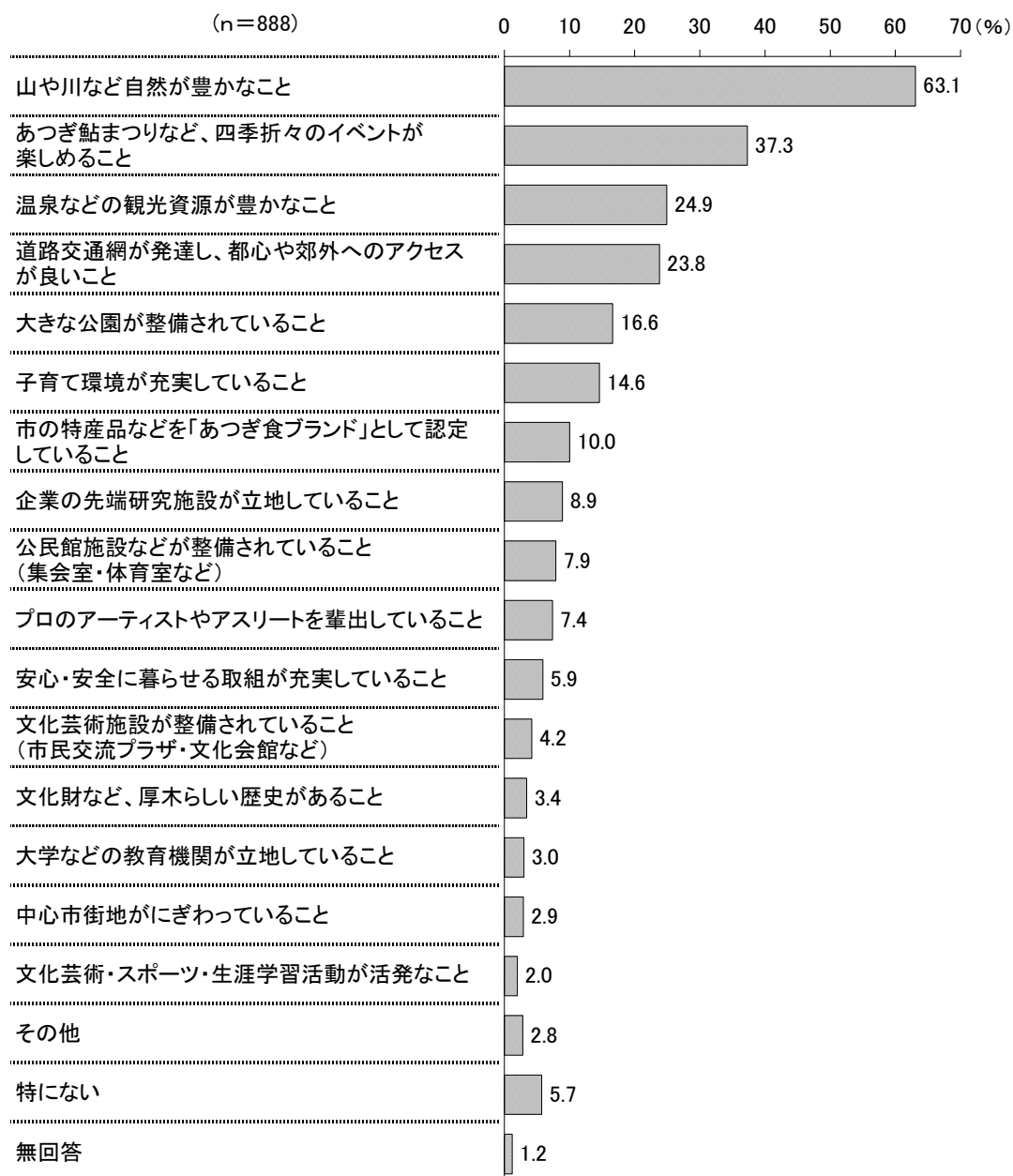
年代別でみると、「時間のゆとりがないこと（仕事・家庭の事情）」は20～29歳で50.6%と高くなっている。「一緒に活動する仲間がいないこと（人材・後継者不足）」は20～29歳で25.3%と高くなっている。「楽器など必要な用具が高いこと」は15～19歳で23.2%と高くなっている。

職業別でみると、「時間のゆとりがないこと（仕事・家庭の事情）」は会社員・公務員・団体職員で49.1%、パート・アルバイトで46.5%と高くなっている。「楽器など必要な用具が高いこと」は学生で23.2%と高くなっている。



(9) 市をPRできるもの

Q9 あなたにとって厚木市をPRできるものは何ですか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。



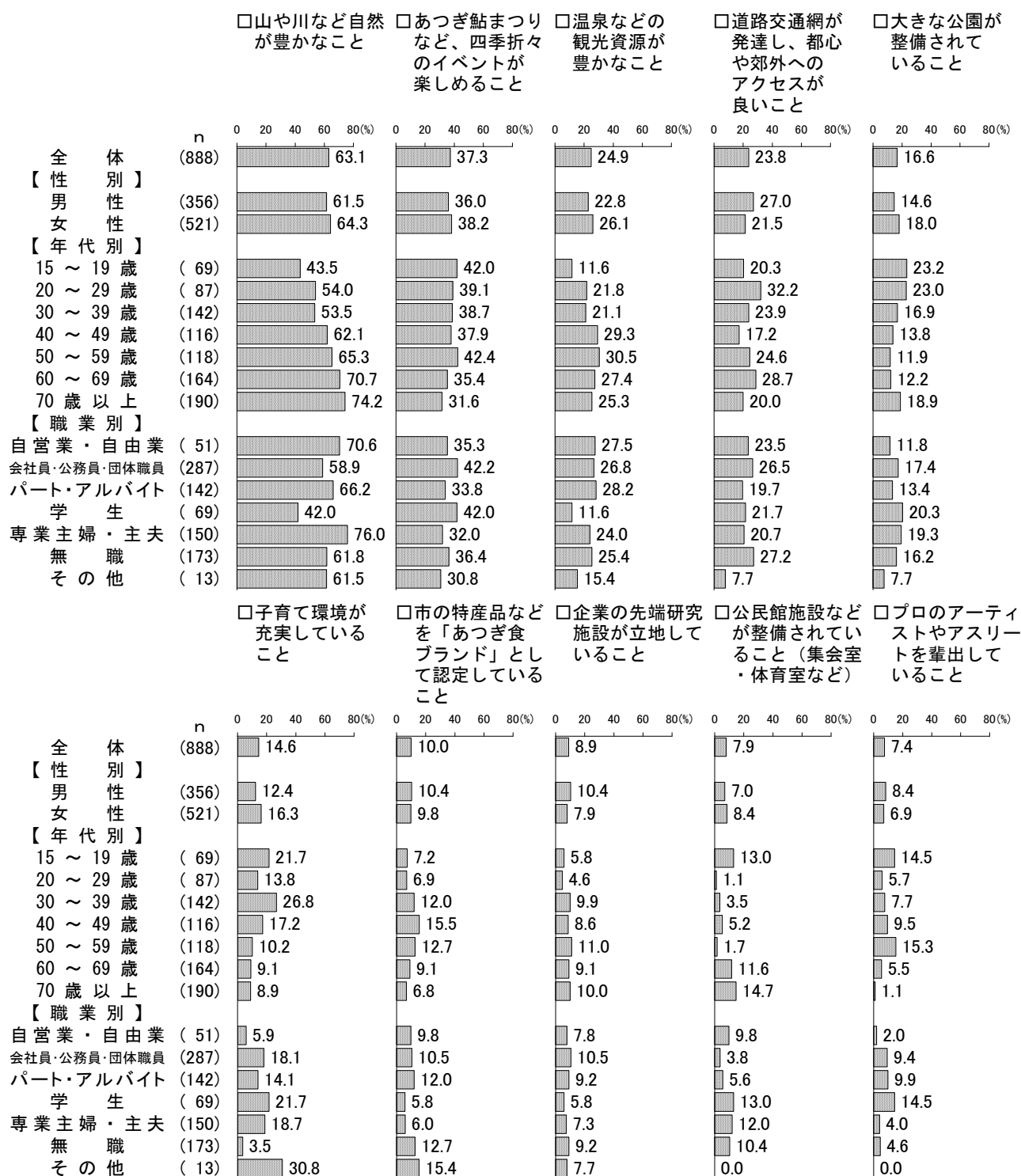
厚木市をPRできるものを聞いたところ、「山や川など自然が豊かなこと」が63.1%で最も高く、次いで「あつぎ鮎まつりなど、四季折々のイベントが楽しめること」が37.3%、「温泉などの観光資源が豊かなこと」が24.9%、「道路交通網が発達し、都心や郊外へのアクセスが良いこと」が23.8%となっている。

<性別、年代別、職業別>（上位10項目）

性別でみると、「道路交通網が発達し、都心や郊外へのアクセスが良いこと」は男性（27.0%）が女性（21.5%）より5.5ポイント高くなっている。一方、「子育て環境が充実していること」は女性（16.3%）が男性（12.4%）より3.9ポイント高くなっている。

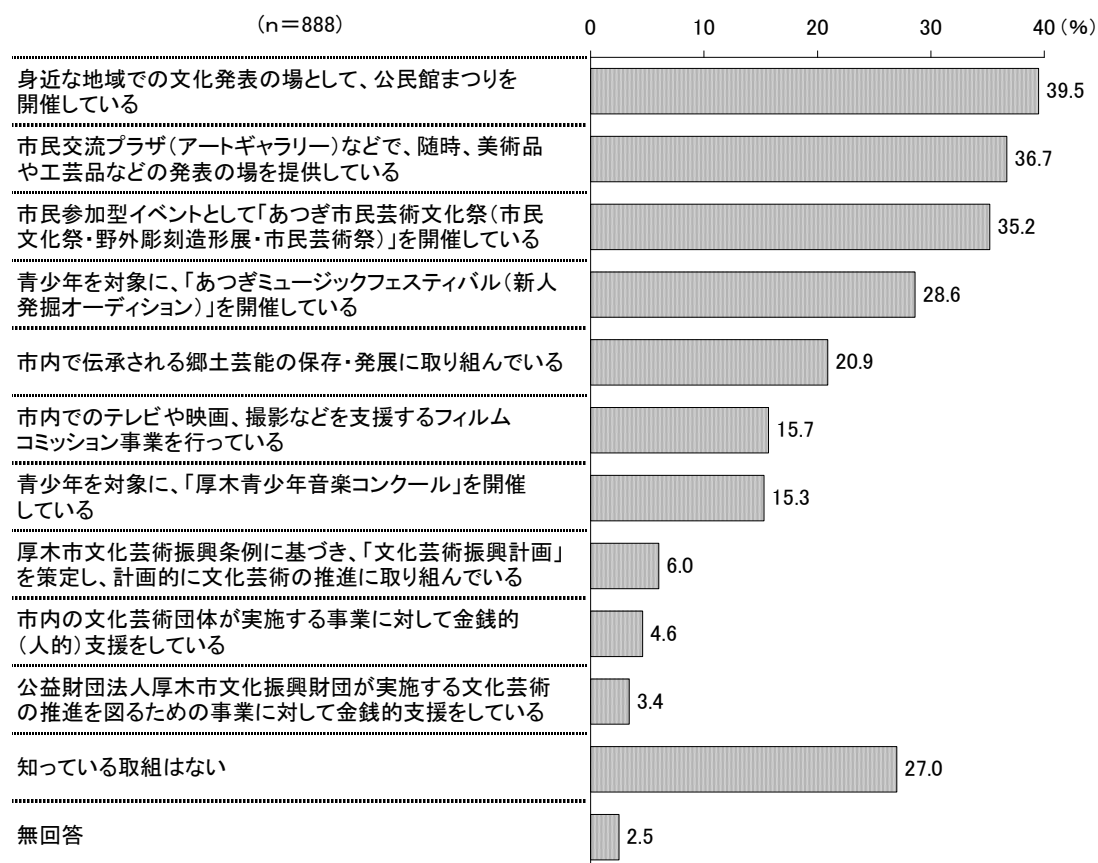
年代別でみると、「山や川など自然が豊かなこと」はおおむね年代が上がるにつれて高く、70歳以上で74.2%となっている。「道路交通網が発達し、都心や郊外へのアクセスが良いこと」は20～29歳で32.2%と高くなっている。

職業別でみると、「山や川など自然が豊かなこと」は専業主婦・主夫で76.0%、自営業・自由業で70.6%と高くなっている。「あつぎ鮎まつりなど、四季折々のイベントが楽しめること」は会社員・公務員・団体職員で42.2%、学生で42.0%と高くなっている。



(10) 市の文化芸術に関する取組の認知度

Q10 厚木市では次のような文化芸術に関する取組を行っています。あなたが知っているもの全てに○をつけてください。



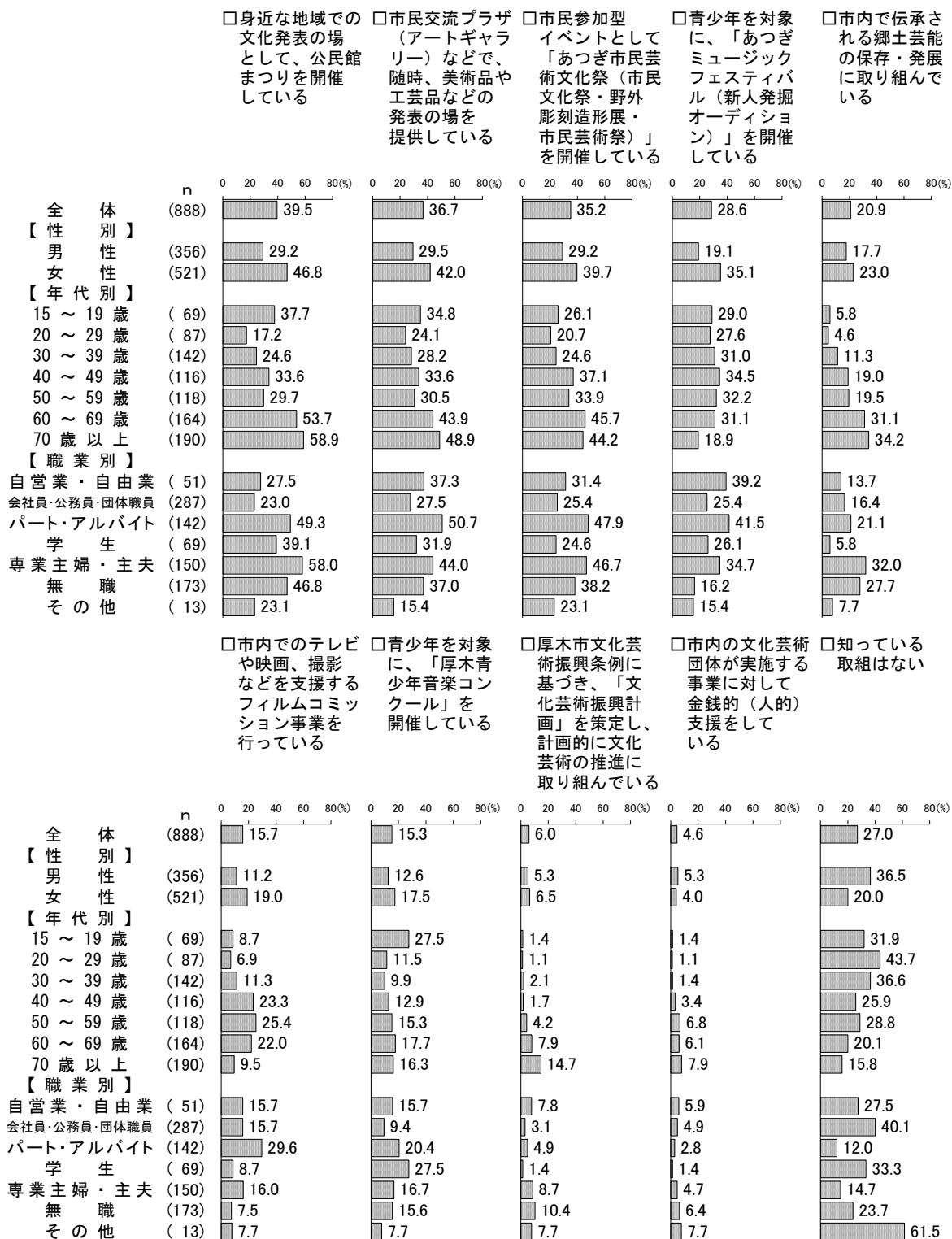
市の文化芸術に関する取組の認知度を聞いたところ、「身近な地域での文化発表の場として、公民館まつりを開催している」が39.5%で最も高く、次いで「市民交流プラザ(アートギャラリー)などで、随時、美術品や工芸品などの発表の場を提供している」が36.7%、「市民参加型イベントとして『あつぎ市民芸術文化祭(市民文化祭・野外彫刻造形展・市民芸術祭)』を開催している」が35.2%、「青少年を対象に、『あつぎミュージックフェスティバル(新人発掘オーディション)』を開催している」が28.6%となっている。一方、「知っている取組はない」は27.0%となっている。

<性別、年代別、職業別>（上位10項目）

性別でみると、「身近な地域での文化発表の場として、公民館まつりを開催している」は女性（46.8%）が男性（29.2%）より17.6ポイント、「青少年を対象に、『あつぎミュージックフェスティバル（新人発掘オーディション）』を開催している」は女性（35.1%）が男性（19.1%）より16.0ポイント、それぞれ高くなっている。

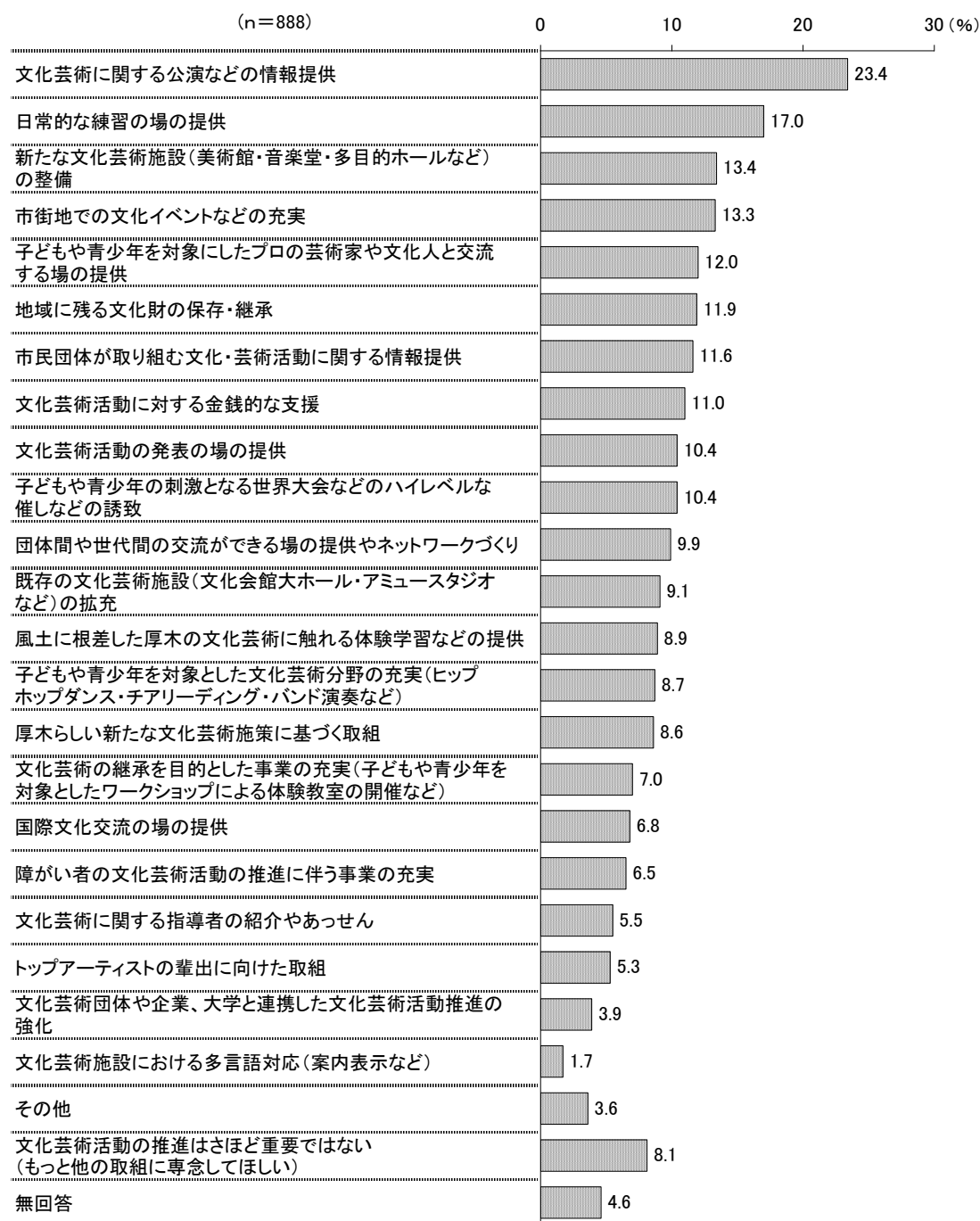
年代別でみると、「身近な地域での文化発表の場として、公民館まつりを開催している」は60～69歳で53.7%、70歳以上で58.9%と高くなっている。「市民交流プラザ（アートギャラリー）などで、随時、美術品や工芸品などの発表の場を提供している」は70歳以上で48.9%と高くなっている。

職業別でみると、「身近な地域での文化発表の場として、公民館まつりを開催している」は専業主婦・主夫で58.0%と高くなっている。「市民交流プラザ（アートギャラリー）などで、随時、美術品や工芸品などの発表の場を提供している」はパート・アルバイトで50.7%と高くなっている。



(11) 文化芸術のまちづくりを進めるために必要なこと

Q11 文化芸術のまちづくりを進めるために、厚木市行政に求められることは何だと思えますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。



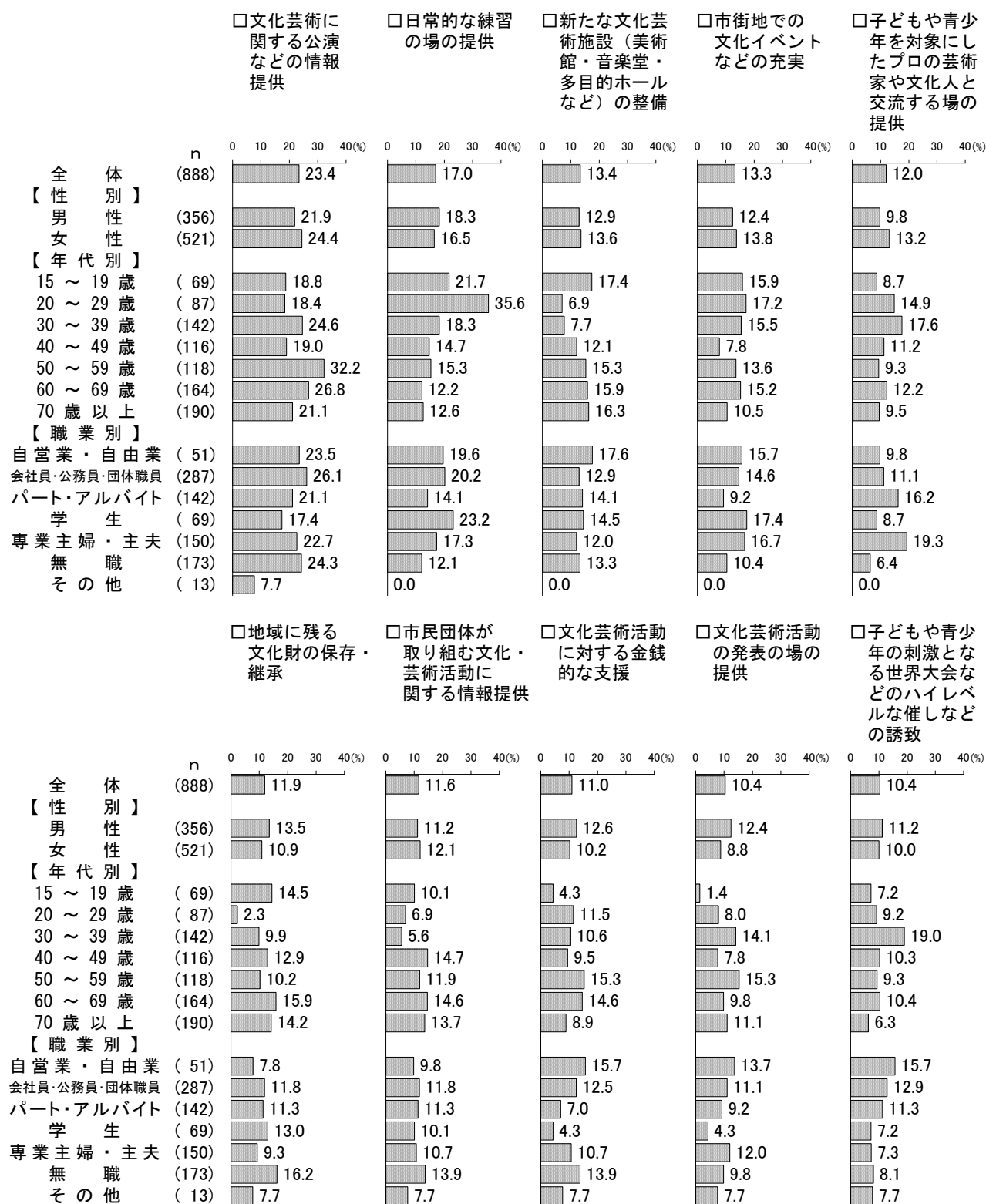
文化芸術のまちづくりを進めるために行政に求められることを聞いたところ、「文化芸術に関する公演などの情報提供」が23.4%で最も高く、次いで「日常的な練習の場の提供」が17.0%、「新たな文化芸術施設（美術館・音楽堂・多目的ホールなど）の整備」が13.4%、「市街地での文化イベントなどの充実」が13.3%となっている。

<性別、年代別、職業別>（上位10項目）

性別でみると、「文化芸術活動の発表の場の提供」は男性（12.4%）が女性（8.8%）より3.6ポイント高くなっている。一方、「子どもや青少年を対象にしたプロの芸術家や文化人と交流する場の提供」は女性（13.2%）が男性（9.8%）より3.4ポイント高くなっている。

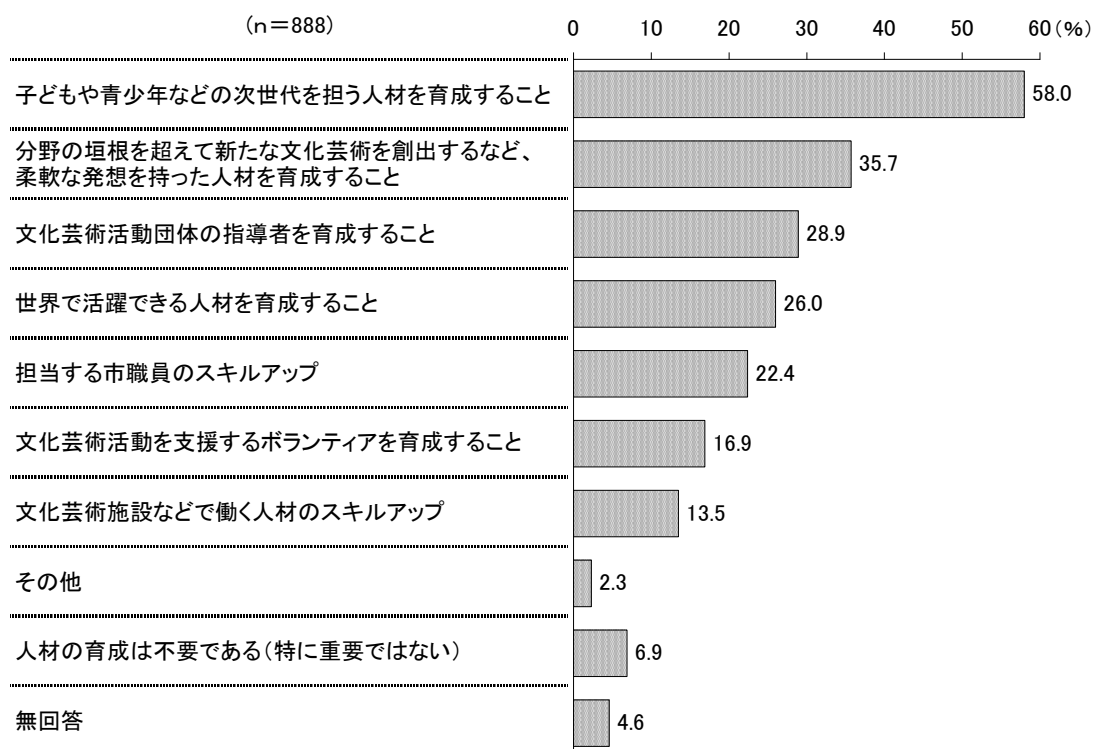
年代別でみると、「文化芸術に関する公演などの情報提供」は50～59歳で32.2%と高くなっている。「日常的な練習の場の提供」は20～29歳で35.6%と高くなっている。

職業別でみると、「文化芸術に関する公演などの情報提供」は会社員・公務員・団体職員で26.1%と高くなっている。「日常的な練習の場の提供」は学生で23.2%と高くなっている。



(12) 市の文化芸術活動を発展させるために必要な人材育成

Q12 厚木市の文化芸術活動を発展させるために、どのような人材の育成が必要だと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。



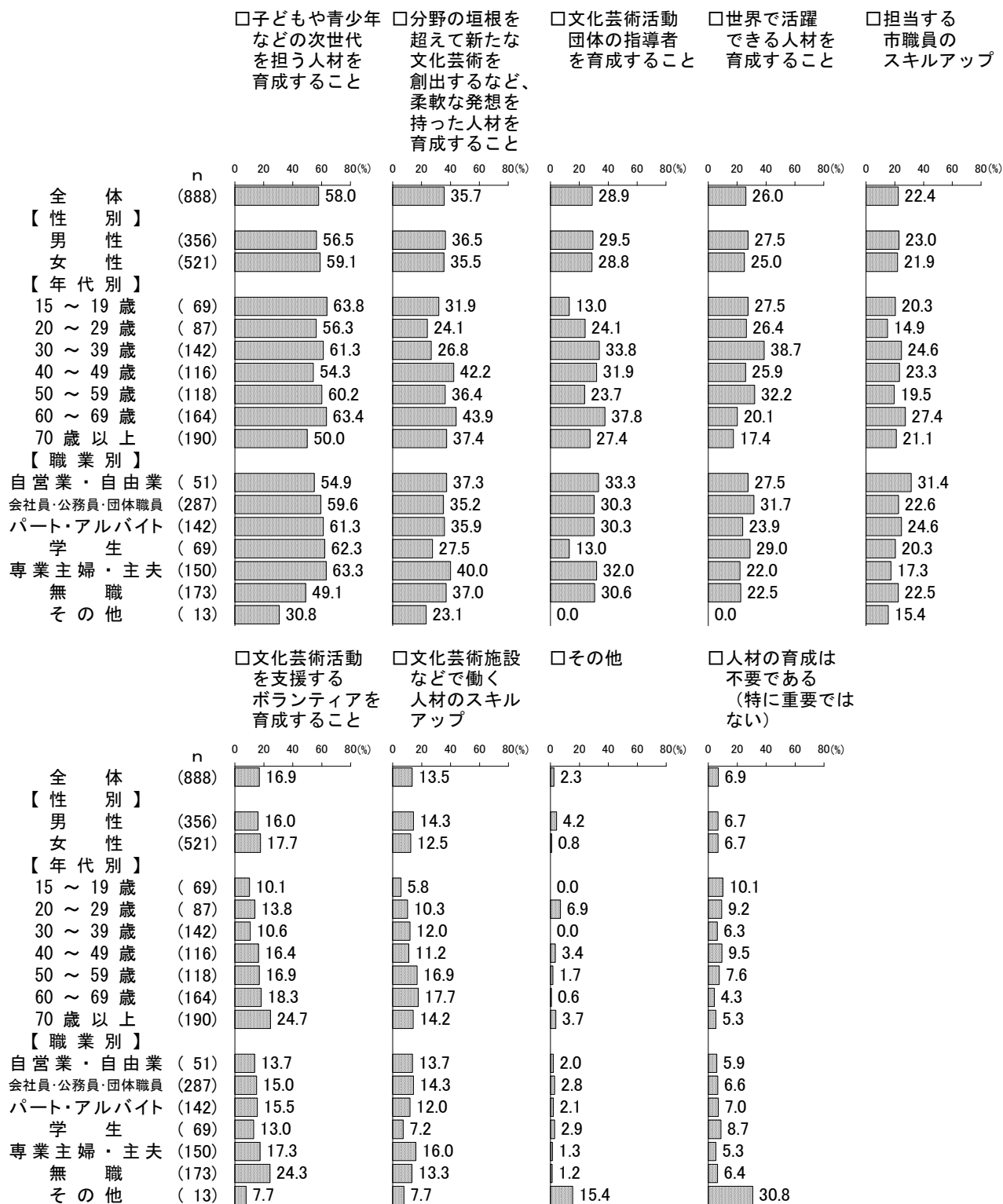
市の文化芸術活動を発展させるために、どのような人材の育成が必要か聞いたところ、「子どもや青少年などの次世代を担う人材を育成すること」が58.0%で最も高く、次いで「分野の垣根を超えて新たな文化芸術を創出するなど、柔軟な発想を持った人材を育成すること」が35.7%、「文化芸術活動団体の指導者を育成すること」が28.9%、「世界で活躍できる人材を育成すること」が26.0%となっている。

<性別、年代別、職業別>

性別でみると、大きな違いはみられない。

年代別でみると、「分野の垣根を超えて新たな文化芸術を創出するなど、柔軟な発想を持った人材を育成すること」は40～49歳で42.2%、60～69歳で43.9%と高くなっている。「世界で活躍できる人材を育成すること」は30～39歳で38.7%と高くなっている。

職業別でみると、「分野の垣根を超えて新たな文化芸術を創出するなど、柔軟な発想を持った人材を育成すること」は専業主婦・主夫で40.0%と高くなっている。「担当する市職員のスキルアップ」は自営業・自由業で31.4%と高くなっている。



(13) 文化芸術活動への取組が必要な理由

Q13 文化芸術活動への取組は何で必要だと思いますか。自由に御記入ください。

文化芸術活動への取組は何で必要だと思うか自由に回答してもらったところ、297人から369件の回答が寄せられた。回答を分類し、代表的な意見を一部抜粋して掲載する。

主な回答	件数
1 心を豊かにする、人生の豊かさ	69件
2 次世代への継承・教育	40件
3 人と人との交流、社会参加の活発化	36件
4 まちづくり、都市の発展、賑わいの創出	32件
5 生きがいの創出、生きる楽しみ	24件
6 厚木市のPR、認知度の向上	22件
7 生活の豊かさ	20件
8 人材の発掘・育成	12件
9 多様な価値観が持てる	10件
10 ふるさとへの愛着を持たせる、郷土愛	10件
11 健康維持のため、癒し	8件
12 資金などの援助、支援	8件
13 将来のために	8件
14 人として成長する	7件
15 スキルアップ	7件
16 創造性や工夫する力、感性を育む	7件
17 普及・啓発	7件
18 個性の主張、尊重	5件
19 広報、情報発信	5件
20 施設について	4件
21 その他	28件
合 計	369件

1. 心を豊かにする、人生の豊かさ

- ・ 心を豊かにし、暮らしに潤いを与えることができる。
- ・ 芸術を通して、人と人との心の感動・歓喜を共有できる。幸せな生涯の心の糧にできる。
- ・ 今のような状況の中、特に文化芸術の大切さを感じます。心の空白をうめてくれるような音楽・芸術などに日々癒されています。「心のレストラン」として、非日常に身をゆだねられるような取り組みを期待しています。
- ・ 生活し、自己実現をしていく上での文化芸術は、影響力が大きいと思っている。文化の発展は豊かな心を育て幸福感が増すものである。
- ・ 健康的で豊かな生活を営むためには、精神的なゆとりや安心感・幸福感を皆が感じられる必要がある。そのためには、個人伝承ではなく、行政による積極的なリード・サポートが必要と思います。
- ・ 文化芸術を肌で感じることで、心が豊かになり、インターネットなど画面の中では味わえない感動を得られたりするため。

- 文化芸術は、人が生きていくうえでとても大事なものだと思います。心の成長や癒し、生きがいなど、あらゆる部分で無くてはならないものだと思います。今、世の中が大変な中では、よりもっと人の心の安定に必要なものになっていると思います。
- 人生の幅を広げていくため、豊かにするため。
- 文化芸術にふれる時間を作ることは、心の余裕に繋がると思うので。
- 心を動かし、育てるのは、スポーツを含め文化芸術活動なのだと、このコロナの自粛生活でイヤというほどに感じました。元気に明るく生きていくために、心の栄養分として、文化芸術にこれからももっともっと触れていきたいと思っています。
- 住民の心を豊かにし、思いやりのある人づくり。
- 文化レベルの高さは、その社会の精神的な豊かさに比例していて、その豊かさは、幸福感にも繋がっていると思うので、文化芸術活動への取り組みは、市民の幸福度が上がるのではないかと思います。
- 文化芸術活動は、人間の生きていくうえでのエネルギーになるもので、人として欠かせないものであるから。「人はパンのみに生きるものならず」
- 豊かな思考力を育てるため。豊かな思考は、生活や心にゆとりをもたらすと思うため。
- 伝統芸能や文化、芸術ってというのは、インターネットや動画では手に入らない心の豊かさをもたらししてくれるものだと思う。私達若者がそれらに興味を持たなくなっている昨今、保護や促進といった意味でも重要だと思う。

2. 次世代への継承・教育

- 文化や芸術、伝統は守っていくことに1つの価値があると考えから。
- 厚木市の大切な歴史や伝統・教訓などを次世代へ継承することで、人や物の大切さやこれから起こるかもしれない災厄にも対応できる人を育成するため。
- 子供たちに「文化」「芸術」を伝えていくことで、将来の活動へと繋がる。20～40代くらいはなかなか参加しづらい（仕事等）子供たちが参加しやすいものをつくることで、20～40代の親世代の参加が見込めると思う。
- 昔からの伝統を残すため。厚木の1つの魅力として。
- 地域の文化財などの保存・継承は、この地に住む誇りであり、これからの基盤になると思う。若い世代の皆さんが、興味を持って進んでいく活動ができれば、指導者は勿論、芸術家も文化人も増えていくことになるでしょう。
- インターネットが普及するなか、文化や芸術に興味・関心を持つ若者が減っていると思われるから。
- 文化芸術というものは、一言では言えないほど重いものです。昔の人達が大切に伝えてきたものを、現代人はもっと研究して。（絵画等には、人の知性や精神が表れていると思います）。
- 未来の子ども達への伝承。
- 伝統が引き継がれて、その町らしさが生まれる。
- 歴史や伝統があるなら保護すべきものは保護し、新しい取り組みや新しい人材に繋げていければ良いと思います。

3. 人と人との交流、社会参加の活発化

- 余生を健康で過ごすためには、体を動かし、頭を使い、友人と交流できる場が必要です。
- 人と人との絆を深め、厚木市全体の活性化につながる。

- ・地域の文化芸術活動が行われることで、多世代・国際交流を担うことができるものとするから。
- ・文化活動の活発化により、更に他市・他県との交流が活発化。
- ・文化芸術に興味を持ち、活動するきっかけを作ればおのずとコミュニティができて、自分の生活の幅が広がっていくと思う。
- ・仕事の仲間と違って、同じことを好む人との付き合いはより仲良くなれるので、交流を深めるにも適しているから。

4. まちづくり、都市の発展、賑わいの創出

- ・厚木そのものが豊かで活動的な生き生きとした市になるため。
- ・厚木市のJAZZフェスのような催しは、賑わうし楽しみにしています。
- ・人と人のつながりや、厚木市の発展の為に色々な芸術で学んだり、情報交換・発表することによって厚木市の発展や活性化につなげる。
- ・文化芸術の発展が市の発展に繋がると思っている。
- ・厚木市が有名になり、活性化するためには必要だと思うからです。
- ・文化芸術は、人間性を高めるために重要であり、またその活動が豊富であるという事は、市のブランド力に繋がるから。
- ・より魅力的な街として発展させていく為。
- ・市の文化芸術の水準を高く向上させ、市の品位を確立して、存在感ある市になるため。
それにより、住んで良かったと言う市民満足度を向上させる。
- ・厚木市が活気づくのではないかなと思う。

5. 生きがいの創出、生きる楽しみ

- ・生きていくうえで欠かせないものだと思います。
- ・情緒を豊かにさせ、人生を充実したものにするため。
- ・高齢者が文化芸術を通して社会とつながりを持つことは、生きがいを持つこととなる。
- ・活力ある人生を送るため！
- ・高齢化や少子化の社会を支えていくためには、生きがいやまた、子供たちには幅広い教育活動が必要と思われます。学校だけでなく、地域のなかでの芸術活動は大変重要な役割を果たすと思われます。
- ・人間は余暇を楽しむ生物だから。
- ・心の栄養になるので、人生が楽しく豊かになり、生きがいにも繋がると思う。
- ・芸術活動をすることで日々の生活にメリハリが生まれ、普段経験することのない経験ができるので文化芸術活動をするべきだと思います。

6. 厚木市のPR、認知度の向上

- ・全地域に厚木市の特徴を教えることができる。
- ・厚木市をもっとPRするため。
- ・市民の多くの人に知ってもらうために、PR活動をし、厚木の文化を広めていくため。
- ・クリエイターやクリエイターを志す人々に活躍のチャンスを与えるため、知名度アップに繋がれば、将来的に厚木市の財産になる。

- ・ 厚木市のPR強化になる。
- ・ 厚木を発信する良いツールになると思う。

7. 生活の豊かさ

- ・ 文化芸術活動は生活を豊かにするものだと思います。これからどんどん高齢社会が続き、できるだけ地元で豊かな生活を送れば嬉しいと思っているので、必要だと思います。
- ・ 色々な経験を体験することで生活を豊かにし、その人の可能性を広げることができる。
- ・ 市民の生活に、楽しみや潤いを与えるため。
- ・ 余暇の過ごし方がワンパターンにならないために、または生活を豊かなものにするため、文化芸術は必要。
- ・ 安心安全（街の環境や医療・消防・警察など）な生活の上で、文化的な充実した生活が人生の質を向上させると考えるため。
- ・ 家庭や職場以外の活動の場を提供することで、生活の充実に繋がると思うから。
- ・ 生活に潤いが生まれる。

8. 人材の発掘・育成

- ・ 世界で活躍できる人がたくさん出て来て欲しい。これからの日本の為にも若い人がたくさん出て日本を背負って欲しい。
- ・ 外部への発信と新たな才能の掘り起こしを深めるため、単に世界で活躍、というだけの意味にとどまらず、それぞれの場所で輝く人をより活かす取組が市の活性化につながるものと思います。
- ・ 世界で活躍できる人材、子どもや青少年などの次世代を担う人材を育成すること。
- ・ 一流の芸術家とのふれ合いの中で、次世代の人材育成の取り組み、世界に視野を広げてほしい。
- ・ 心を豊かに育てる。あらゆる才能を持つ人を生かす。

9. 多様な価値観が持てる

- ・ 活動に触れることで、多様な価値観を持つことができる。
- ・ 子供たちが新しい文化芸術にふれることで視野が広がっていけるとよい。
- ・ 子どもたちを育てる上で、多様な価値観や枠にはまらない柔軟な思考を育む為に文化芸術活動は最適だと思う為。
- ・ 様々な価値観を知り、自分を新たに見つめ直すきっかけづくり。

10. ふるさとへの愛着を持たせる、郷土愛

- ・ 市が積極的に働きかけることで、自分のふるさとに対してもっと愛着を持つようになると思うから。
- ・ 伝統の継承は、郷土愛を醸成する。
- ・ 子供から大人、お年寄りまで、厚木の住民でよかったと思えるよう、厚木が大好きといえるよう、いろんな取り組みの1つとして文化芸術活動も必要だと思う。
- ・ 活動を通して人と交流でき、住んでいる土地に愛着がわく。

11. 健康維持のため、癒し

- ・ 精神的ケアに必要と思う。
- ・ 人々の日常の疲れを癒すため。
- ・ 芸術に触れることで少しでもストレスを減少させ、仕事や家事などを円満にするためにも必要だと思います。

12. 資金などの援助、支援

- ・ 厚木市民が市内で満足できる文化芸術活動ができるよう、資金の充実(縛りのないお金。たっぷりと。)を望む。
- ・ 文化芸術活動を求める人が、若者・高齢者・生活するのに困難な人など全ての人が活動に取り組めるように、市や文化芸術施設、大学や学校などが場所と技術を提供できるようにしてほしい。または、演劇ワークショップを大人向けのものやってほしい。
- ・ 共生社会のためハンディキャップがある方の芸術活動の支援もお願いします。

13. 将来のために

- ・ 歴史ある芸術作品に触れることで自分を知り、これからの生き方の指針になることさえある。
- ・ 感性や知識の向上。様々な発見によって、様々な未来を開くきっかけづくりになるから。
- ・ 今後、子どもが成長した時に「やってよかった」と思ってもらえるように。大人になっても芸術に対してのモチベーションがあがるために。

14. 人として成長する

- ・ 子供が文化芸術にふれることは、子供の発達や生きる力を養うことに繋がると思う。
- ・ 文化芸術活動への取り組みは人間が人間として成長するために、必要不可欠な取組である。
- ・ 文化芸術活動から得られる興味や学びは人に人間的成長を促すものであり文化芸術活動への取り組みを絶やすということは人間的成長の機会を奪うことに近いとも言える。従って文化芸術活動を促進する取組は市民のために必要な取組である。

15. スキルアップ

- ・ 人間のもっている力を開花させるためだと思います。
- ・ 文化芸術のスキルアップは、プロによる交流が重要なポイントとなると思います。そのような機会を多くできるようにお願いいたします。
- ・ 文化活動を通じて個人のスキルアップ。

16. 創造性や工夫する力、感性を育む

- ・ こんな時代だからこそ、五感をフルに使って、年代問わず感性を磨いて欲しいから。
- ・ 市民が文化芸術活動に興味を持って取り組むことで、豊かな発想力や多様性を養い、市として発展できるとおもいます。
- ・ 子供達がコミュニケーションスキル、表現力、創造性を育むために文化教育が必要。

17. 普及・啓発

- ・ 文化芸術活動の中には敷居が高いと感じるものもあるので、まずは文化芸術に触れる機会を増やし、日常のなかに文化芸術が浸透していくことが第一歩になるのではないかと思います。
- ・ 芸術に興味をもってもらう第一歩になればいい。

18. 個性の主張、尊重

- ・ 文化芸術分野は五感を使い、一人一人の感受性を高める活動であるため、その人らしく生きるうえで大切な要素になるため。
- ・ イラスト・絵を作成することで自分を表現できることに意味があると思う。

19. 広報、情報発信

- ・ 文化芸術活動への支援制度などの情報提供をより広い人へ伝える。
- ・ 何時、何処で、何をしているのか、何ができるのかの発信を積極的にしてほしい。

20. 施設について

- ・ 厚木市民が市内で満足できる文化芸術活動ができるよう、施設の充実、施設の活用をして欲しい。
- ・ 施設の利用は市民なら無料にするべき。

21. その他

- ・ 若い世代にもっと興味がわくような自由な作品やイベントなど、昔ながらと現代を融合して欲しい。政治と同じで、新しいことやその人のキャラの強さで目をひく。お金はかかるが、メディアでも取り上げる、映画をつくってもらうなどする。
- ・ 芸術を中心とした就職の場を作る。全国的にあまりにも少ない。
- ・ 現代の日本は発展途上国ではない。急がずに腰をすえて文化を育てていけば、ヨーロッパの如く、文化芸術のレベルがアップします。
- ・ 柔軟性を持たせること！例えばものづくりは、考案品等に趣味を持っている方々が多数いる。文化活動と聞くと堅苦しいイメージがあり、とっつきにくいということで避けてしまいます。もっと広範囲に広げてください。
- ・ 非常事態で一番最初に削られるのが文化芸術です。こんなときこそ、支えていく必要があると考えます。
- ・ 文化芸術活動以前の課題が山積している様に思う。文化芸術活動の入り口は昨今は自らインターネット等を通じて探す事が出来るので、市として予算を割り振らずとも色々な場面がそもそもあるのではないかと。
- ・ 人々の余暇としてとても重要な役割を果たしていると思う。文化芸術活動を通じて様々なことを学ぶことができると思うから。

(14) 「厚木らしい文化芸術」を推進していくために必要なこと

Q14 「厚木らしい文化芸術」を推進していくためには、何が必要だと思いますか。自由に御記入ください。

「厚木らしい文化芸術」を推進していくためには何が必要か自由に回答してもらったところ、275人から355件の回答が寄せられた。回答を分類し、代表的な意見を一部抜粋して掲載する。

主な回答	件数
1 情報発信、広報	60件
2 厚木らしさ、特徴・特色	39件
3 施策・事業の充実	37件
4 普及啓発	32件
5 イベントの開催・誘致	31件
6 人材育成・発掘	17件
7 文化の保全・継承	15件
8 交流	14件
9 青少年	13件
10 活動・発表の場	12件
11 文化施設の整備・充実	12件
12 環境	12件
13 支援	10件
14 まち並み、まちづくり	9件
15 指導者	7件
16 交通の便	5件
17 郷土愛	5件
18 その他	25件
合 計	355件

1. 情報発信、広報

- ・ 相模人形やささら踊り等、なかなか見る機会がありません。いつ、どこでやっているのかの情報が欲しいです。
- ・ 「厚木らしい文化」と問われたとき、市民が「これだ」と答えられる情報発信をして、その推進の必要性を行政と市民が共有できることが必要。
- ・ 小・中の課題に取り入れ、賞を取った学生に工夫した点など発想の起源になったものなど、インタビューをしてあゆチャンネルに出演させる。
- ・ 人々へそれぞれの活動内容を詳しく情報提供して、参加者が増えるように窓口を広くしたほうがよいと思います。
- ・ 以前、相模原市に住んでいました。厚木市に引っ越して思うのは、「地域の情報が全く入ってこない」事でした。地域情報紙が各家庭に入るだけで、厚木市の文化芸術を広めていくことにつながるような気がします（財政のこともありますが）。正直、市政・市長の顔・文化等、全然分からないのが現状です。

- 大学や企業などと協賛し、センスの高い発信のしかたを模索してください。
- 市の行事を宣伝すること。
- 市内には、文化芸術分野で活躍している方が多くいると思います。スポーツの分野では、スポーツ人の集い等、活躍をアピールする場がありますが、文化芸術分野での表彰は、あまり目にすることがなく、どんな活動や活躍をしているのか知らないの、広報等で多くの人に見てもらふことが必要だと思います。厚木には、すばらしい舞台人も多くいますが、あまり知られていないように思います。
- 活発な広報活動が必要。例えば文化会館などでのコンサート・演劇・寄席等、鑑賞した人の感想、出演者の生の声など、身近な人の声をアップすることで興味のない人にも関心を持ってもらえると思う。
- 厚木らしい文化芸術を広めるには、「広報」で連載的に詳しく、誰にでもわかるように説明して欲しい。厚木市に住んで40年あまりになるけど、厚木のことを良く知りませんので、よろしくお願いします。
- 厚木市が行っている文化芸術に関する取り組みを、多くの人に知ってもらえるようにする。
- どのような芸術活動をしているか、情報を得る機会が少ないと思う。鮎祭りのように市民に周知できれば、若い世代へも継承されるのではないのでしょうか。
- 県外から来た者にとって、まだまだ厚木市の強みは知られていない気がします。多くの人にもっと知ってもらうために情報発信していくとよいと思います。
- YouTubeなど時代に合わせた広報手段の拡充。
- 場所、認知度、著名人を利用したPRが必要と考えます。
- あゆコロちゃんを使ってできるPR。
- 厚木市内だけでなく、外部に向けたPR活動が必要だと思います。特にネットを利用した厚木にとどまらない世界に向けた発信が、厚木に住む若者の興味ややる気を刺激するのではないのでしょうか。
- 厚木は歴史が詰まった貴重な土地であり、地元愛も強い。既存の歴史ある文化を表に出し、広く周知して世界を見据えた文化に昇華していく必要がある。インターネットを活用し、世界中に厚木ブランドを広め、世界中から注目される街になる必要があると思う。もっと文化を世界中に発信していく必要があると思う。

2. 厚木らしさ、特徴・特色

- 特に「厚木らしい」という考えを強く押し出さなくてもよいのでは？と思います。県央地域くらい広い視野が必要では？
- 昔から伝承されている行事や芸能をもっと有効活用すれば、厚木オリジナルの文化を発信することができます。
- 厚木フードの見直しとインスタ映えするような、新たな伝統フードの開発などいいと思う！例えば、美容食として猪鍋の打ち出し、あゆもなかを生まれ変わらせる（ソフトクリームやパフェに乗せるなど）
- 厚木市は、様々な川や大山など豊かな自然があることが魅力だと思います。ハイキングコースもあつたりするので、そういうのを活かしていけばいいかと思います。
- 自然が豊かなのを生かし、他との競争ではなく、学びのなかで力を発揮し、よいものを広げてゆく。
- イギリスのニンパイよろしく、厚木の鮎でフィッシュパイを作ってみては？おいしいかどうかはわからないけども、鮎祭りで食べれるとうれしいです。
- 「厚木らしさ」の追求と他地域との差別化。厚木らしさは、何に主軸をおくかが難しいと思いました。
- 「厚木らしい文化芸術」を象徴するような（名所となりえる）観光スポット。

- ・ 厚木市の名産品などを文化芸術で表現する。
- ・ 利便性に優れた本厚木あたりから少し離れば、川や山など自然に触れ合える場所があるのが厚木の良いところだと考える。これを伸ばすことが、厚木らしい文化芸術を発展させる一つの解だと考えられる。
- ・ 厚木らしさを既存のものだけに求めるのではなく、新しい文化を創り出すことも考えることが必要。
- ・ 厚木市での特産品や名物を前面に出していけば良いと思う。厚木市といえばこれ！というものがあまりパッと浮かばない。
- ・ あゆコロちゃんを材料にし、コラボ商品などを作る。

3. 施策・事業の充実

- ・ 古い厚木も大切ですが、若い厚木も必要ではないかと思います。市役所の中だけでなく、外にでて活動する工夫が必要なこともあるのでは。
- ・ 魅力ある企画力。
- ・ 何事も長く続けていく事だと思う。
- ・ 絵画・芸能・音楽などに心を寄せ、専門的知識を持っている方々を中心に市民メンバーも含めた団体の立ち上げはいかがでしょうか？
- ・ 文化芸術推進以外に、課題は多くあります。いかにバランスを取り進めていくことが大事だと思います。
- ・ 厚木市が市民参加型の文化芸術に力を入れてくださっていることを心強く思います。今後もいろいろな分野においても積極的に市民が参加できる機会が増えることを望みます。
- ・ 文化芸術活動を推進されている方々や指導されている方々等、「話し合っていくこと」が必要だと思います。
- ・ まず、公共施設の建て替え等で無駄な支出を出さない。目に見えてわかりやすい財政の浪費は市民を不安にさせ、結果、文化芸術や娯楽全般への支出を抑えさせてしまいます。
- ・ 現在行われている活動を地道に継続していくことが大切だと思う。
- ・ 文化芸術は世界共通だと思うので厚木はローカルではなくハブになるのが理想です。
- ・ 「厚木らしい」にこだわらず、まずは市民にどのような理由で、どのように文化芸術活動を行ってほしいか意見を示す。
- ・ 活動ができるような基盤(活動方法、支援金、場所等)を具体的に示していくことが必要だと思う。それを踏まえて、市民が文化芸術活動をスタートするための道を案内してほしい。
- ・ 生まれて根付くのが文化なので根付かせるにはどうしたら良いか、道筋をたてる必要がある。
- ・ 縦割りでなく情報の共有と協力しあい、盛り立てていく事が大切だと思う。

4. 普及啓発

- ・ 風土に根差した厚木らしい文化芸術に触れる場の提供。
- ・ 幼少期からの体験・活動への参加（地元の幼稚園、保育園でのイベント、発表など）。
- ・ 首都圏からも近い地の利を生かし、プロの方々に生で接する機会をもっと多くふやしていただけたらうれしいです。
- ・ 年に何回か、文化芸術を見る機会があると、行くことができます。文化会館までは行きにくいと思います。できれば公民館などで手軽に見ることができればよいと思う。

- ・ 幼・小・中の学校において、触れる機会をもうける。部活があってもよい。
- ・ 厚木巡りなど、ツアーや文化芸術に触れることができる体験型経験を増やして、活気づけて欲しい。
- ・ 学校等でもっと文化・芸術に触れるイベントを取り入れる。
- ・ 市内には多くの有名な芸術家がありますが、作品を見る機会がありません。企画をお願いします。
- ・ 風土に根差した厚木の文化芸術にふれる体験学習などの提供。
- ・ 子どもや青少にもっと文化芸術に多く触れ合うことが出来る機会を作って挙げたいと思う。
- ・ それぞれの年代に応じた文化、芸術が楽しめる内容を推進してほしい。
- ・ 我々の生活の中に生きてきた文化芸術や新しく生まれてきた文化芸術や新しく生まれつつある文化芸術などを含めて、文化芸術の多様性がいかに人間にとって大切か、人間の生活を豊かにするかを幼少の頃から認識させるような教育の必要性を痛感する。
- ・ 子供たちが、文化芸術に触れる機会を増やすこと。

5. イベントの開催・誘致

- ・ 「厚木市」に特化して、地域を盛り上げてくれるアーティスト。あゆまつりなどでお祭りをたくさん開催する。
- ・ 文化イベントであっても、屋外で屋台もあるなかでの家族でこれるようなものにする。
- ・ 自然が豊かで、交通網もよいので、道路や森・山・川を利用した競技やスポーツ、イベント（E. G. レースとか）もあってもいいかなと思います。
- ・ 季節ごとのイベントや大学・企業（あるいはそこに勤務・通学する人たち）を囲い込みやすいイベントや体制を整える方向に予算を回す。
- ・ みんながやってみたい、参加したいと思うような魅力がある催し。
- ・ 気軽に文化芸術に接することができ、様々なイベントを行ってほしい。
- ・ もう少し若者むけのイベントがあると良いと思う。文化や伝統に対して、若者が興味を持てるようにしていく事や、流行している新しいイベントなども積極的に行うことが必要。
- ・ 自然豊かな厚木を背景に野外での芸術活動も考えてはどうか。
- ・ 自然が多いので、季節にごとにいろんなイベントを多く行う。

6. 人材育成・発掘

- ・ SNSや特設HPなどを最大限活用し、発表の場や人材の発掘をしてください。
- ・ 人材とリーダーが必要だと思う。
- ・ 伝統を守っていく人材育成。
- ・ 文化芸術施設などで働く人のスキルアップ。
- ・ 古い既成概念を捨てて、新しい意欲のある人材の登用。
- ・ 厚木出身のアーティストなどの輩出による芸術活動の底上げ。

7. 文化の保全・継承

- ・ 各地域の神社等の祭事や行事等を広める。
- ・ 郷土芸能の継承とともに、文化芸術の体験機会の提供など。

- 厚木らしいというのは難しいですが、人形芝居など遺していけるよう、すばらしさのアピールのため露出を心がけていくなど、現代にあったソーシャルネットワークの活用もより必要なのではないでしょうか。
- 厚木の代表文化を推しだしてPRして、若年層に文化を伝えて残していく事。
- 年寄りからの芸を見聞きして教わったりしたい。伝統を受け継ぐこと。
- 地域に残る文化財の保護。

8. 交流

- 学校でもっともっとすばらしい技術や伝統知識をお持ちのご高齢の方々との交流をはかってほしい。子供は学び、ご高齢の方々は元気の源になる。「ふれあい」を大切にした取り組みに力をいれてほしい。
- 活動をしている人達同士、団体とのマッチングやPRの場がもっとあると良いと思います。
- 厚木に住んでいる方で芸術のプロがいらっしゃると思いますので、その方の御力を借りて、他分野のプロとのコラボはいかがでしょうか。
- 様々な団体にかかわる人達同士の交流の場を設けて、情報や意見を交換すること。
- 子供・青少年を中心とした文化活動と高齢者ボランティアの交流。
- 芸術は見る人によって評価が変わるものなので、幅広い分野のものを沢山の人の目に触れるようにする方法を考える必要がある。
- 厚木らしい文化芸術に関わる全ての人(市の職員を含めて)が垣根をこえて手を取り合える環境が出来たら、より良いものが作れると思う。

9. 青少年

- 文化芸術が子供たちにとって分かりやすく、親しみやすい身近なものであること。厚木に住んでいて良かったと思える取り組み。
- 相模人形芝居とJAZZとの共演など、新しい取り組みをされていて、とてもよいと思う。これからも古い文化と新しいものを組み合わせて、若い人にも興味を持ってもらう。
- 若い人達に、広く活動に参加させ、興味を持たせる。
- いい例として、厚木には秋に大道芸がありますよね。プロの人の芸術に触れて、私もやってみようと体験できる場は、あまりにも少ないと思います。体験学習ができて、皆楽しめるイベントを企画を大人がやるのではなく、若い子供たちに任せてみてはどうでしょう。きっと良い企画があるかもしれませんよ。
- 我が厚木市には、高校が6校、大学が（2つ減っても）4大学あります。22万都市にしては多いほうだとも思います。この若い人達の感性とエネルギーをフルに活用・協働して、厚木市は活気に満ちた町を文化芸術からアピールできたら、最高と思いますし、期待しています。
- 子育て環境が充実した厚木ならではの子供・青少年を中心とした文化活動。

10. 活動・発表の場

- 多くの人が参加しやすい場所の提供。
- 楽器を自由に演奏してよい場所の提供。子供でも来れるように1回の場所代を安くする。

- ・地域の文化(財) 活動を発表・取り組みができる場づくり。
- ・身近な場所（公民館等）で発表できるような取り組みを始めるなど、目に付く場所にあると身近に感じる事ができると思います。

11. 文化施設の整備・充実

- ・厚木市として、まず専門の美術館を持っていないことは寂しいです。文化都市を目指すのであれば。文化会館も収容人数云々以前に少人数でもよいので、もっと音響効果を誇れる本格的な施設が欲しいです。
- ・特色のある施設が欲しい。
- ・自然（山や川や森林）を守りつつ、文化施設の整備を拡充していくことだと思う。
- ・小田急線、本厚木駅の利便性や厚木の自然を活かして、東京まで行かなくても素晴らしい美術や演劇、音楽会に触れられるようなホールを作してほしい。

12. 環境

- ・自然に育つ環境づくり。強制的に推進しても本物は育たない。行政は前面に出るべきではなく、間接的に支援すべき（陰の力として必要）。
- ・仕事帰りに通えるような、曜日・時間に縛られないで活動できる施設や、講習会があったらいい（夜間・駐車場が有るなど）。
- ・子供たちが小さいころから芸術にふれる環境づくり。
- ・気軽に始められる環境づくり。
- ・興味を持った時に参加できるような、時間的余裕や同じ市内でも距離的な問題の解消など。
共働きでの保育園児や小学生低学年がいる世帯には、平日昼間の枠組の参加は全くできません。
共働き世帯のフォローもしていただいている厚木市ですが、結局趣味や文化芸術に（発表会の参加ではなく、取り組みたいとき）参加するには、時間的余裕があることが最大の条件になるので、結果参加できません。

13. 支援

- ・予算がないと何もできないので、まずはそれを充実させてほしい。
- ・金銭的な支援をしっかりと行うこと。
- ・奨学金制度も拡充することで、本当に子育てに優しい町になると思います。

14. まち並み、まちづくり

- ・長年、厚木市に住んでいますが、厚木らしいというものを感じる事が少ない。厚木市をどんな街にしていっても考えていくべきではないかと感じます。
- ・「厚木市で発表活動してもなあ」と思わせないまちづくりをしてください。厚木市中央公園あたりに、ハイセンスな複合施設を建設し、NYのチェルシーや表参道の方々も納得するような芸術振興活動がなされた場合、厚木で活躍したいと思える。

15. 指導者

- 確かな指導者を確保すること。
- 芸術活動の推進をして行くため、指導者の育成に力を入れること。若い世代に伝えていくため、育成した指導者に部活の顧問などになってもらい、小・中・高などの学生・生徒・児童に芸術活動の芽を育てていくこと。具体的には和楽器の演奏者の育成。

16. 交通の便

- 自然に恵まれた厚木で、理想を言えば、路面電車などに乗り、子供も大人も高齢者もさっと文化芸術を開催している場所に気軽に行ける環境が必要だと思います。
- 私のような年寄りには、行動範囲も少なく知識向上の意欲は充実しているが、まず感じるのは交通の足りなさを実感する。

17. 郷土愛

- 厚木は都心や郊外へのアクセスがよいために、厚木以外の地域への文化芸術に目が向きやすいので、厚木への愛着を再確認する活動が必要だと思う。
- 厚木の郷土を知ること、愛する事だと思います。それには、幼い頃から厚木史を知っていく必要があります。根っからの厚木市民がどれだけ在住されているかわかりませんが、私自身が、10代後半で厚木市民になりましたので、多感な時期を過ごした市の方に愛着があります。幼い記憶は、純粹にそこが好きだった愛があります。

18. その他

- 同じ人が何年も文化芸術のリーダーをしているように思われます。これでは新たな発想が生まれるはずがない。新たな視点の発想が必要である。市の職員の考え方を変えないと駄目である。
- 新しいものを取り入れることも大事です。でも、そのなかに、この町のらしさが一つでもいたらうれしいですね。
- 文化的な活動を重要視していない市民が多いためか、映画も劇も根付かないのが残念です。
- 今だからこそ、「不要不急」の大切さ、豊かさを知ること。療養中のため、近くの公園しか散歩ができない日常です。
- 高齢者ボランティアの拡充。
- せっかくある温泉街が、ここのところ衰退していて、残念。温泉街を盛りあげたい。
- これから未来に向けて新しい発想を出し合う場。

Ⅲ 使用した調査票

Q1 あなたの性別について、該当するもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 答えたくない |
|------|------|----------|

Q2 あなたの年代について、該当するもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1 15～19歳 | 3 30～39歳 | 5 50～59歳 | 7 70歳以上 |
| 2 20～29歳 | 4 40～49歳 | 6 60～69歳 | |

Q3 あなたの職業について、該当するもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 自営業・自由業 | 5 専業主婦・主夫 |
| 2 会社員・公務員・団体職員 | 6 無職 |
| 3 パート・アルバイト | 7 その他（ ） |
| 4 学生 | |

Q4 あなたの余暇の過ごし方について該当する選択肢を選んでください。該当するもの全てに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 テレビを見る・ラジオを聴く・読書をする |
| 2 インターネットやゲームをする |
| 3 文化芸術活動をする（茶道・合唱・絵を描く・ダンスなど） |
| 4 スポーツをする |
| 5 映画・コンサート・美術・スポーツなどを鑑賞（観戦）する |
| 6 市内の文化財を巡る |
| 7 市内の温泉に行く |
| 8 市内で鮎などの川釣りをする |
| 9 旅行に出掛ける |
| 10 アウトドアやハイキングなどを楽しむ |
| 11 買い物をする |
| 12 料理を作る・食べ歩きをする |
| 13 勉強をする |
| 14 ボランティア活動をする |
| 15 その他（ ） |
| 16 特にない |

Q5 あなたがこの1年間で鑑賞（観賞）した文化芸術は何ですか。該当するもの全てに
○をつけてください。

- 1 音楽
- 2 演劇やダンスなど
- 3 美術や写真など
- 4 映画やアニメなど（映像関係）
- 5 歌舞伎や日本舞踊などの伝統芸能
- 6 茶道・華道・書道などの生活に係る文化
- 7 相模人形芝居・相模里神楽・ささら踊りなどの民俗芸能
- 8 落語や漫才などの話芸
- 9 神社仏閣などの文化財
- 10 その他（）
- 11 鑑賞（観賞）活動をしていない ⇒Q7へ

（Q5で、「1」～「10」とお答えの方におうかがいします）

▶Q6 あなたはこの1年間でどのような媒体や手段を通じて文化芸術を鑑賞（観賞）しましたか。該当するもの全てに○をつけてください。

- 1 劇場やコンサート会場など現地での鑑賞
- 2 冊子や雑誌などの紙媒体
- 3 TVやラジオ
- 4 インターネット
- 5 その他（）

Q7 あなたはこの1年間で文化芸術に関する活動をしましたか。該当するもの全てに○をつけてください。

- 1 音楽活動をした
- 2 演劇やダンスなどをした
- 3 小説や漫画などの執筆をした
- 4 絵を描いた
- 5 写真を撮った
- 6 映画やアニメ、ゲームなどを制作した（映像関係）
- 7 歌舞伎などの伝統芸能に取り組んだ
- 8 茶道・華道・書道などの生活に係る活動に取り組んだ
- 9 相模人形芝居・相模里神楽・ささら踊りなどの民俗芸能に取り組んだ
- 10 落語や漫才などの話芸に取り組んだ
- 11 囲碁や将棋などの娯楽に取り組んだ
- 12 文化財を巡った
- 13 その他（ ）
- 14 活動はしなかった

Q8 あなたが文化芸術の活動をこれから始める又は現在している上での課題は何ですか。
当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 活動するための施設や場所が身近にないこと
- 2 公共施設の使用料が高いこと
- 3 楽器など必要な用具が高いこと
- 4 一緒に活動する仲間がいないこと（人材・後継者不足）
- 5 時間のゆとりがないこと（仕事・家庭の事情）
- 6 文化芸術活動に取り組むための情報が不足していること
- 7 団体等に所属せずに、個人のみで継続して活動していけるような支援や仕組みが乏しいこと
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

Q9 あなたにとって厚木市をPRできるものは何ですか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 山や川など自然が豊かなこと
- 2 温泉などの観光資源が豊かなこと
- 3 市の特産品などを「あつぎ食ブランド」として認定していること
- 4 大きな公園が整備されていること
- 5 公民館施設などが整備されていること（集会室・体育室など）
- 6 文化芸術施設が整備されていること（市民交流プラザ・文化会館など）
- 7 文化財など、厚木らしい歴史があること
- 8 文化芸術・スポーツ・生涯学習活動が活発なこと
- 9 プロのアーティストやアスリートを輩出していること
- 10 大学などの教育機関が立地していること
- 11 企業の先端研究施設が立地していること
- 12 中心市街地がにぎわっていること
- 13 あつぎ鮎まつりなど、四季折々のイベントが楽しめること
- 14 道路交通網が発達し、都心や郊外へのアクセスが良いこと
- 15 子育て環境が充実していること
- 16 安心・安全に暮らせる取組が充実していること
- 17 その他（）
- 18 特にない

Q10 厚木市では次のような文化芸術に関する取組を行っています。あなたが知っているもの全てに○をつけてください。

- 1 市民参加型イベントとして「あつぎ市民芸術文化祭（市民文化祭・野外彫刻造形展・市民芸術祭）」を開催している
- 2 青少年を対象に、「厚木青少年音楽コンクール」を開催している
- 3 青少年を対象に、「あつぎミュージックフェスティバル（新人発掘オーディション）」を開催している
- 4 市内の文化芸術団体が実施する事業に対して金銭的（人的）支援をしている
- 5 市内でのテレビや映画、撮影などを支援するフィルムコミッション事業を行っている
- 6 市内で伝承される郷土芸能の保存・発展に取り組んでいる
- 7 身近な地域での文化発表の場として、公民館まつりを開催している
- 8 市民交流プラザ（アートギャラリー）などで、随時、美術品や工芸品などの発表の場を提供している
- 9 厚木市文化芸術振興条例に基づき、「文化芸術振興計画」を策定し、計画的に文化芸術の推進に取り組んでいる
- 10 公益財団法人厚木市文化振興財団が実施する文化芸術の推進を図るための事業に対して金銭的支援をしている
- 11 知っている取組はない

Q11 文化芸術のまちづくりを進めるために、厚木市行政に求められることは何だと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 文化芸術に関する公演などの情報提供
- 2 市民団体が取り組む文化・芸術活動に関する情報提供
- 3 日常的な練習の場の提供
- 4 文化芸術活動の発表の場の提供
- 5 文化芸術活動に対する金銭的な支援
- 6 文化芸術に関する指導者の紹介やあっせん
- 7 団体間や世代間の交流ができる場の提供やネットワークづくり
- 8 市街地での文化イベントなどの充実
- 9 子どもや青少年を対象とした文化芸術分野の充実（ヒップホップダンス・チアリーディング・バンド演奏など）
- 10 障がい者の文化芸術活動の推進に伴う事業の充実
- 11 国際文化交流の場の提供
- 12 子どもや青少年を対象にしたプロの芸術家や文化人と交流する場の提供
- 13 地域に残る文化財の保存・継承
- 14 厚木らしい新たな文化芸術施策に基づく取組
- 15 新たな文化芸術施設（美術館・音楽堂・多目的ホールなど）の整備
- 16 既存の文化芸術施設（文化会館大ホール・アミュースタジオなど）の拡充
- 17 文化芸術の継承を目的とした事業の充実（子どもや青少年を対象としたワークショップによる体験教室の開催など）
- 18 風土に根差した厚木の文化芸術に触れる体験学習などの提供
- 19 子どもや青少年の刺激となる世界大会などのハイレベルな催しなどの誘致
- 20 トップアーティストの輩出に向けた取組
- 21 文化芸術施設における多言語対応（案内表示など）
- 22 文化芸術団体や企業、大学と連携した文化芸術活動推進の強化
- 23 その他（ ）
- 24 文化芸術活動の推進はさほど重要ではない（もっと他の取組に専念してほしい）

Q12 厚木市の文化芸術活動を発展させるために、どのような人材の育成が必要だと思いますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 世界で活躍できる人材を育成すること
- 2 子どもや青少年などの次世代を担う人材を育成すること
- 3 文化芸術活動団体の指導者を育成すること
- 4 文化芸術活動を支援するボランティアを育成すること
- 5 担当する市職員のスキルアップ
- 6 文化芸術施設などで働く人材のスキルアップ
- 7 分野の垣根を超えて新たな文化芸術を創出するなど、柔軟な発想を持った人材を育成すること
- 8 その他（ ）
- 9 人材の育成は不要である（特に重要ではない）

Q13 文化芸術活動への取組は何で必要だと思いますか。自由に御記入ください。

Q14 「厚木らしい文化芸術」を推進していくためには、何が必要だと思いますか。自由に御記入ください。

御協力ありがとうございました。

今後とも、厚木市の文化芸術の推進に対しまして、御理解と御協力をお願いいたします。

第2次厚木市文化芸術振興計画に 係る意向調査 報告書

令和2年10月

発 行 厚木市

企画・編集 厚木市協働安全部文化生涯学習課
〒243-8511 厚木市中町三丁目17番17号
電話 046(225)2508(直通)

調査協力 株式会社エスピー研